

# 京柔整会報

新年号 機関誌 142号



新年のご挨拶 長尾 淳彦 会長

特集1 京都の接骨の源流を探る① 本会の黎明期

特集2 京都府柔道整復師会仮事務所のご紹介

公益社団法人 京都府柔道整復師会

平成29年 1月20日

# 京都医健専門学校 柔道整復科

**3**  
年制

I部 午前集中コース (9:20~12:30)  
I部 午後集中コース (13:20~16:30)  
II部 [夜間] (18:20~21:30)

## 【柔道整復師】

京都医健は全国に約70校の姉妹校を有する滋慶学園グループの1校です。そのうち8校が柔道整復師を養成しております。姉妹校とのネットワークを活かし、国家試験対策を入学前から行っています。また、e-learningを用いてパソコンや携帯でいつでも学習ができます。万が一、国家試験が不合格になった場合は授業料無料でサポートします。



京都医健は、「既修得単位認定制度」・「専門実践教育訓練給付金制度」を設けています。

あなたの  
学費を  
サポート!!

あなたのキャリアを  
最大限に活かす!

## 既修得単位 認定制度

大学・短期大学・専門学校の専門課程において既に履修された授業科目(基礎科目・専門基礎科目)で、本校のカリキュラムと同一科目もしくは授業内容が同一の場合、単位を認定し、その科目の履修を免除します。また認定された科目に対し授業料を一部免除します。さらに、学校長が判断した場合、授業科目が同一でない場合も単位を認定することがあります。

既修得単位認定制度で **履修単位の免除** **授業料の免除** を受けることができます

キャリア  
アップを  
国が支援!!

平成28年4月入学対象者

## 専門実践 教育訓練 給付金制度

対象 柔道整復科・鍼灸科・言語聴覚科・社会福祉科

専門学校の職業実践専門課程で給付制度を行っている学校及び厚生労働大臣が専門的・実践的な教育訓練として指定した講座(専門実践教育訓練)を受講した場合に、給付金の給付割合の引上げや追加支給があります。

最大144万円給付/

<b>鍼灸科</b>  <b>3年制</b> I部[昼間]午前集中コース I部[昼間]午後集中コース II部[夜間]	<b>理学療法科</b>  <b>4年制</b> I部[昼間] II部[夜間]	<b>作業療法科</b>  <b>4年制</b> I部[昼間]	<b>視能訓練科</b>  <b>3年制</b> I部[昼間]	<b>言語聴覚科</b>  <b>2年制</b> I部[昼間] ※大卒者対象	<b>社会福祉科</b> <b>1年制</b> II部[夜間] ※大卒者等対象 <b>精神保健福祉科</b> <b>1年制</b> II部[夜間] ※大卒者等対象 2017年4月設置 (認可申請中)	<b>スポーツ学科</b>  <b>2年制</b> アスレティックトレーナーコース スポーツトレーナーコース スポーツインストラクターコース スポーツ&ビューティーコース スポーツメディカルコース スポーツ福祉コース	<b>トータルビューティー科</b>  <b>2年制</b> エステティックコース メイクアップコース ネイリストコース
---	---	--	--	--	--	--	---

※ご不明な点は、オープンキャンパスまたはお電話でお問い合わせ下さい。

スポーツ・医療・福祉・ビューティーが学べる

学校法人 滋慶京都学園 厚生労働大臣指定校  
 日本協公認アスレティックトレーナー免除適応コース承認校

# 医健KEN 京都医健専門学校

☎0120-448-808

〒604-8203 京都市中京区三条通室町西入衣棚町51-2

Eメール [info@kyoto-iken.ac.jp](mailto:info@kyoto-iken.ac.jp)

携帯サイト <http://kyoto-iken.ac.jp>

WEBサイト <http://www.kyoto-iken.ac.jp>



京都医健 検索

## 目 次

●	新年のご挨拶	会 長	長尾 淳彦	3
●	新年のご挨拶	京都府知事	山田 啓二	5
●	新年のご挨拶	京都市長	門川 大作	7
●	新年のご挨拶	京都府医師会会長	森 洋一	8
●	新年のご挨拶	衆議院議長	伊吹 文明	9
●	新年のご挨拶	衆議院議員	谷垣 禎一	10
●	新年のご挨拶	衆議院議員	田中英之	11
●	新年のご挨拶	参議院議員	二之湯 智	12
●	新年のご挨拶	参議院議員	西田 昌司	13
●	新年のご挨拶	京都府議会議員	田中英夫	14
●	新年のご挨拶	京都府議会議員	片山 誠治	15
●	新年のご挨拶	京都府議会議員	村田 正治	16
●	新年のご挨拶	京都市会議員	橋村 芳和	17
●	新年のご挨拶	副会長	柴田 宗宣	18
●	新年のご挨拶	副会長 保険部長	林 啓史	19
●	新年のご挨拶	総務部長	中田 康人	20
●	新年のご挨拶	事業部長	中村 英弘	21
●	新年のご挨拶	事業副部長	岡田 達也	22
●	新年のご挨拶	経理部長	谷山 和浩	23
●	新年のご挨拶	広報部長	中川 稔貴	24
●	新年のご挨拶	学術部長	綾田 剣一	25
●	新年のご挨拶	学術副部長	田中 弘昭	26
●	新年のご挨拶	監事	見原 誠	27
●	新年のご挨拶	協同組合 理事長	関 弘美	28
✦	旧京都府柔道整復師会館での集合写真			29
✦	特集1 京都の接骨の源流を探る① 本会の黎明期			31
✦	特集2 京都府柔道整復師会仮事務所のご紹介			34

✿	平成28年度 全体会議	36
✿	第41回近畿学術大会 奈良大会	37
✿	第67回京都接骨学会 保険講習会	39
✿	第40回日整全国柔道大会・第25回日整全国少年柔道大会・ 第4回日整全国少年柔道形競技会	40
✿	京都府医療推進協議会 「子育てファミリーが健康で働き続けられる社会をつくりましょう」	42
✿	第25回日本柔道整復接骨医学会学術大会 in 仙台	43
✿	協同組合 中小企業団体中央会補助金事業 固定材料（キャスト材）の専門知識向上講習会	波多野 晃彦 44
✿	救護活動報告	
	・第28回市民スポーツフェスティバル	45
	・第31回亀岡市民柔道選手権大会	第四分隊 井爪 英人 46
	・女子バレーボールチャンピオン大会	第四分隊 井爪 英人 46
✿	第20回京柔整会ゴルフコンペ	山形 高明 46
✿	支部だより	
	・南山城支部会	通信員 市位 尚也 47
	・下京・南支部勉強会	通信員 安田 優二 47
📍	会員の動静	48
📢	掲示板コーナー	48
📝	編集後記	49

表紙の写真

正法寺の梅園より望む日の出

京都市西京区にある真言宗東寺派の寺院。山号は法寿山。  
本尊は千手観音。京都洛西観音霊場番外札所、西国薬師四十九霊場第41番札所である。

## 新年のご挨拶



公益社団法人京都府柔道整復師会  
会長 長尾 淳彦

新年明けましておめでとうございます。平成29年の新春にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

本会業務の円滑な遂行のため京都府、京都市をはじめ関係各位の皆様にはご理解ご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。また、会員の先生方におかれましては、総会にて会館移転など重要な課題に賛同いただきありがとうございました。当面は無駄な経費を抑えながらも会員サービスの質が落ちないように執行部、事務局ともに頑張る所存です。忌憚のないご意見やご要望を遠慮なくお伝えください。

さて、昨年の柔道整復師業界は主管省庁である厚生労働省が公益社団法人日本柔道整復師会を中心に検討委員会等を立ち上げ、養成施設カリキュラム等改定、国家試験の出題基準の見直し、資格取得後の臨床研修制度など、これまで十数年間着手出来なかった問題に取り組み実行に移しております。

すべてが「患者安全」「医療安全」の観点からの改定であります。「安心・安全な〇〇」という言葉をよく耳にします。聴き慣れたフレーズです。柔道整復師業界においてもよく使われています。安心と安全を混合せずに客観的な事実を確認・検証することが必要です。

「安心」読んで字の如く「心が安らぐ」ことです。

人それぞれの判断に委ねられるもので自ら理解・納得したという主観的な感情が「安心」です。

「安心」が主観的であるのとは反対に客観的な事実であるのが「安全」です。「科学で証明される客観的事実」「科学的評価によってもたらされるもの」が「安全」です。

一旦「安心」という概念が崩れると主観的な感情ですから「科学で証明される客観的事実の安全」を積み重ねても主観的感情が納得しなければ「不安」となり「安心」とはなりません。「安心」の感情を得るには、こつこつ「安全」の証明を積み重ねることと「信頼」の絆を強める以外ありません。

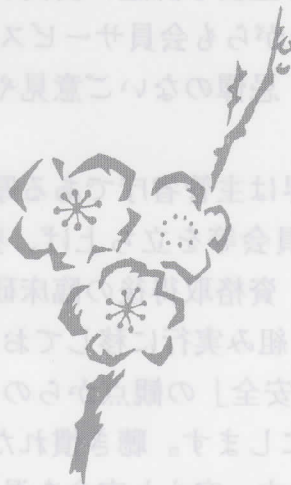
柔道整復師としての質の高い医療を提供するためには深く広い知識と確かな整復・固定技術は勿論のこと高い倫理観が不可欠です。

深く広い知識や確かな整復・固定技術は「柔道整復安全」の基礎です。高い倫理観が「柔道整復安心」の基礎となるものと思います。

将来にわたり、「柔道整復師」が医療人として「誇り」を持って患者さんに「安心」を与えられるような仕組みを進めていかなければなりません。「信頼」の積み重ねが大切です。

柔道整復師として「地域のゲートキーパー」の役割を構築する所存です。本会並びに「柔道整復師」に引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様の今年一年のご多幸を心よりご祈念申し上げまして、新年にあたってのご挨拶といたします。



# 共生社会の実現に向けて

府民の皆さま、あけましておめでとうございます。



## 昨年を振り返って

昨年は、地方創生の動きが本格化する中、オール京都の取り組みで文化庁の京都への全面的移転が決定するとともに、京都丹波高原国定公園の誕生と「京都モデルフォレスト運動」の10周年を祝い、森の京都博の中核イベントとして第40回全国育樹祭を実施するなど、京都の地域力を生かした取り組みを積極的に展開することができました。また、京都を縦貫する自動車道が京丹後市まで開通し、観光客も過去最高の賑わいを記録する中、京都舞鶴港にも多くのクルーズ船が来港するなど、観光の面でも充実した一年になりました。

京都府知事 **山田 啓二**

改めて関係の皆さまにお礼を申し上げます。

しかし一方では、熊本地震や鳥取県中部地震など災害が相次ぐとともに、平成27年の国勢調査の結果からも、少子高齢化や東京一極集中の進行が改めて確認されました。また、北陸新幹線のルート選定過程でもクローズアップされた地域間格差の問題や、増加する非正規雇用の問題、子どもの貧困問題など、社会構造の変化から生じる問題も深刻化しつつあります。

さらに、国際情勢を見ても、保護主義的な思想の台頭が顕著になるなど、様々な観点から二極化が進んでおり、その中で争いの種が芽を出し始めていることに危惧を覚えています。また、昨年、神奈川県相模原市の障害者施設で起きた痛ましい事件は衝撃的でしたが、他者に対する尊重の念を忘れた事件も増加してきているような気がするの私だけでしょうか。

## 共生こそ京都の文化

今年京都は、地域創生戦略に基づき、「文化創生」により京都の価値を発信していこうとしています。私は、この京都の「文化」の中にこそ、こうした時代に立ち向かう大きな答えがあると信じています。

京都は長い歴史に彩られた地域です。丹後王国として栄えた北部、平城京から恭仁京や長岡京など、遷都を繰り返しながら平安京に至った南部、豊かな森の恵みで都を支えた中部。それぞれの地域が個性を生かし、互いを支え合って京都をつくっています。近年、環境問題や少子高齢化など持続可能性が問題になりますが、まさに京都の文化は持続可能な文化と言えます。

もともと平安京という都自体、唐の都長安を模したものでありますが、外国から輸入した文化を日本独特の文化へと育むことにより、千年の都として「歴史との共生」を果たしてまいりました。さらに、千年もの間、都であり続けたという持続可能性を支えたのが、京都議定書の精神に代表される「環境との共生」です。

また、仏教各宗派の本山が多く存在するとともに、日本で最初のキリスト教主義の大学が京都で開学されるなど、多様な思想が共生する京都には、伝統産業から先端産業まで幅広い産業が共生し、さらには、47の大学が個性を持ちながら共生しています。

そして、門掃きや打ち水などに見られるように、人々が隣人に対する思いやりを持って接する京都の文化は、まさに、「共生の文化」というべきものだと思います。

海と人、森と人、お茶と人と、京都府は新しい共生の道を探ってきました。また、学研都市では、文化と学術の共生が花開こうとしています。この共生という文化こそ、京都が今世界に問わなければならない文化ではないでしょうか。

若者も高齢者も、女性も男性も、障害者も健常者も、ともに支え合って、お互いの個性を尊重することができてこそ、はじめて持続可能な社会が成立し、将来に向けて共に発展する可能性が生まれるのではないのでしょうか。

右か左か、黒か白かといった二者択一の対立と争いの中で、排斥と淘汰が繰り返される世の中だけは後世に残したくありません。様々なものが共生する中で、未来に向けて発展することのできる社会こそが、京都に生きる私たちが次の世代に託すべきものではないでしょうか。

## 「もうひとつの京都」

「もうひとつの京都」では、「海」「森」に続き、いよいよ「お茶の京都」の年を迎えます。舞台となる山城地域は、「日本茶のふるさと」として、古くからお茶の文化を支え、育んできた地域です。家族団らの象徴であり、一期一会の文化の源であるお茶、そしてそれを支える山城の景観。ここにも「共生の文化」が息づいています。“Discover Premium Green”のコンセプトのもと、「お茶の京都博」で世界に京都文化を発信する年にしたいと思います。

そして、「もうひとつの京都」セカンドステージを牽引する各地域のDMOのもと、地域やその地に暮らす人々の結びつきを生かし、共に支え合って生きていく「共生の観光」を育んでいきたいと思っています。

## 共生社会の実現へ

こうして本年、京都府は、子育てや医療、産業、労働、環境、観光などあらゆる分野で、「共生」をキーワードとして、府民の皆さまの生活に寄り添った施策を進めてまいりたいと考えております。「交流」と「文化」から生み出される「京都力」を存分に発揮し、京都から世界へ、100年後、200年後の未来へとつながっていく新たな「共生社会」の実現に向け、共に歩んでまいりましょう。

この一年の、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



# 文化の力で日本を元気に！世界に貢献！



京都市長 門川 大作

新年あけましておめでとうございます。  
この一年が公益社団法人京都府柔道整復師会の皆様にとって幸多い年となりますようお祈り申し上げます。

去年は、京都が文化で彩られた一年でした。「文化の殿堂」ロームシアター京都のリニューアルオープンに始まり、鉄道博物館や漢字ミュージアムは新たな賑わい拠点に。京響 60 周年やマンガミュージアム 10 周年、伊藤若冲生誕 300 年と多くの節目が重なり、盛り上がりました。

そんな中、長年の悲願であった文化庁の全面的な移転が決定！市民ぐるみ、オール京都の取組が実を結び、嬉しく思う一方で、京都が負った責任の重さもひしひしと感じています。

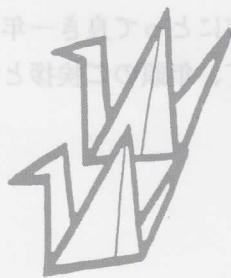
生活文化、地域の絆や自然との共生、ものづくり、おもてなしの心などが千年を超えて受け継がれてきた京都。京都に息づく文化を活かすと同時に、文化と伝統産業、観光、教育、福祉、健康長寿、コミュニティの活性化などあらゆる分野を融合させる新たなモデルを創造し、文化の力で全国を元気に。新年のスタートに当たり、決意を新たにしています。

そして本年、文化庁の地域文化創生本部（仮称）が発足。さらに2月から11月まで実施する「東アジア文化都市」では、日中韓、アセアンとの文化交流を深め、世界平和に貢献。大政奉還 150 周年事業や 2020 年東京オリ・パラに向けての文化力プロジェクト。京都議定書誕生 20 周年で環境問題にも力を入れます。

東京一極集中の是正や人口減少社会の克服が大きな課題です。より一層の子育て支援や中小企業の活性化、安定した雇用の創出、防災減災等、安心社会の実現。暮らしに安心、豊かさ実感、未来に責任！そのための取組を確実に実施し、これらの課題に皆様と共に取り組んでまいります。

「京都で子育てしてよかった」「京都に住み続けたい」と実感できるまちの実現に向け、共々に力を合わせてまいりましょう！

本年も御指導、御支援、よろしく願いいたします。



## ！ 補貢の早 新年のご挨拶 びたの介文



一般社団法人京都府医師会  
会長 森 洋 一

公益社団法人京都府柔道整復師会の会員の皆様方、新年明けましておめでとうございます。皆様にはご健勝にて、新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年末は、アメリカ大統領選挙が行われ、大方の予想に反してトランプ候補の勝利となりました。この結果は、世界に大きな影響を及ぼす可能性も有り、今後の世界情勢から目を離せない状況となっております。

わが国では、安倍政権が引き続きアベノミクスを推進するとしています。ただ、アベノミクスの柱である金融緩和は限界に近く、円安が続いて大企業の業績は改善していますが、国内経済の活性化には十分とはいええず、内需拡大には至っておりません。また、一億総活躍社会の実現に向けて、女性の社会参画を促し、少子化対策から保育士の処遇改善や介護離職をなくすとしていますが、社会保障分野では深刻な人手不足を招いております。さらに、政府は、財政収支均衡を目指し、社会保障費の自然増を年間5千億円、3年で1兆5千億円に抑制をすることで来年度予算においても自然増を1千億円規模抑制するとしています。国民の将来の安心・安全な社会をどのように構築するのか新年に新たなビジョンを示していただけるよう期待をしております。

■ 本年は、地域医療構想が策定され、2025年に向けての医療、介護への新たな取り組みに歩みを進める年になります。また、京都府医師会のみならず、多くの地区医師会の創立70周年を迎える節目の年となります。酉年は運気が極まる年、経済も良くなるのではと期待される年になって欲しいと心より祈っております。

■ 京都府医師会といたしましても、関係団体との連携強化、多職種連携を強化し皆保険制度堅持のために尽くしてまいりたいと考えております。

結びにあたりまして、貴会の今後のますますのご発展とご活躍をご期待申し上げますとともに、本年が、会員の皆様方にとって良き一年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



# 新年のご挨拶



日本柔道整復師会 顧問  
京都府柔道整復師会 顧問  
衆議院議員 **伊 吹 文 明**

新年明けましておめでとうございます。京都府柔道整復師会の皆さまにとり、本年が良き年であることをお祈りし、変わらぬご厚誼をお願い致します。温かくお支えいただいた多くの皆さまのお蔭で、私も連続当選11回、政治活動も33年となりました。前回の選挙の後、衆議院議長を辞してから幸い健康は万全で、各党の同僚政治家の皆さんはもとより、役所、各種団体等からの報告やご相談ごとの対応、講演・選挙応援等々、多忙な毎日を送っています。

私は初当選以来、日本社会に受け継がれてきた日本人の生き方や矜持を大切に、競争社会・市場経済の避けえぬ弊害を抑え、公正な社会を実現し、自助の気概と自己抑制を失わぬ品性ある国民による品格ある「日本国のかたち」を目指してまいりました。しかし現実には、長寿少子化による労働力不足、豊かさのなかでの勤労意欲の低下と賃金の高騰、その結果としての生産拠点の海外移転、社会保障予算増加に伴う財政赤字等々が進んでいます。日本国をむしばむこれ等の現象は何としても回避し、次の世代に良き日本を引き継がねばと心せく昨今です。政治の努力は勿論ですが、何より日本人のこれからの生き方が今後を左右すると言っても過言ではないでしょう。今年も決意を新たに、日本国と国民のために微力を尽くしてまいりたいと思います。

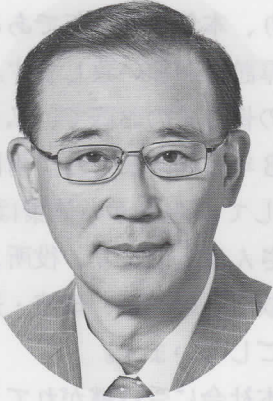
本格的な少子・長寿社会、人口減少時代においても、安心して医療が受けられる日本であり続けるには、医療提供者、保険の管理者、患者であり最終負担者である国民が公平に負担を分かちあい、医療財政の基盤を確かなものにしておかねばなりません。長寿社会においては、特に世代間の負担と給付のバランスに配慮しておかないと、現役世代の勤労意欲、引いては日本経済、日本社会の活力に問題を生ずる怖れを否定できません。

永く国民に受け入れられてきた柔道整復術も、療養費払いという保険制度に基盤をおいている以上この例外ではありません。先生方も将来とも安定した治療法の提供者として国民に愛され、尊敬される存在であるためには、社会的に批判を受ける施術者とは一線を画し、新設される管理柔道整復師中心の日本柔道整復師会として、ステイタスを確立されることを願っています。先生方の一層のご研鑽をお願いし、私も政治の場で引き続き先生方のため、患者さんのため、努力したいと存じます。

結びに、先生方のご健勝をお祈りし、新年のご挨拶と致します。

寒つばき 一枝そえる 手洗鉢

# 新年のご挨拶



衆議院議員 谷垣 禎 一

京都府柔道整復師会の皆様、新年あけましておめでとうございます。

平成 29 年の新春を皆様と共に祝い申し上げますと共に、柔整の皆様には平素、格別のご支援を賜っておりますことに心から御礼申し上げます。

さて、今年は大国アメリカ合衆国、また古い隣人たる韓国それぞれの大統領交代による新政権の発足。それに加えフランスにおいても大統領交代が報じられるなど、国際社会の大きな変動が予測されます。

当然我が国においてもこれらの影響は大きく、せっかく持ち直しかけていた景気の先行きさえも案じられる中、安全保障法制の実働、TPP 交渉の行方等々内外に山積する重要課題に取り組みねばなりません。

幸い政権与党たるわが党は、柔整の皆様を始めとする幅広い友好団体と全国津々浦々に組織された党员のお支えにより積み上げてきた 60 年の実績があり、この難局も必ずや乗り越えられるものと確信しております。

また、国内に目を向けるとき、年々高齢化が進む社会にあつて、国民が真に健康・長寿を喜び、祝い合える社会、老若男女全てが等しく幸せを享受できる社会の構築に向け、医療福祉の充実が喫緊の課題です。

医療の大きな一翼を担っていただく柔整の皆様には今後も様々な面でお世話になることと存じますがどうか変わらぬお力添えの程お願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして素晴らしい年でありますよう、そして京都府柔道整復師会の更なるご隆盛をお祈りし、年頭のご挨拶といたします。



## 新年のご挨拶



衆議院議員 田中英之

新年あけましておめでとうございます。

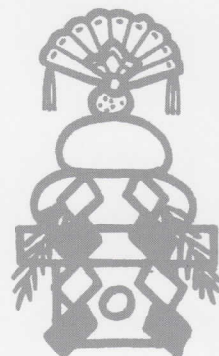
京都府柔道整復師会の皆様におかれましては、お健やかに輝かしくも平成29年の新年を迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。京都府柔道整復師会会長長尾淳彦様をはじめ会員の皆様におかれましては、平素より私の諸活動に温かいご理解とご支援を賜っておりますことに心より御礼申し上げます。

さて、昨年私は衆議院「地方創生特別委員会」の理事を仰せつかり、地域力再生についての議論を多く重ねてまいりました。京北、南丹、京丹波を含む「京都丹波高原国定公園」が全国64番目の国定公園に指定されたことも始めて、「森の京都」と銘打った政策が京都府内で多く取り組まれました。特に、「第40回全国育樹祭」では、皇太子殿下に御臨席を賜り、自然共生についてのお言葉を頂戴し、また、現役農水大臣にも御来訪いただき、お時間を頂戴して我が地域を御視察いただくことができました。

地域力再生には、地域の魅力を発信し多くの方々に往来いただくことも重要ですが、その地域に根付きご活躍いただく皆様が安心してその地域にお住まいいただくことが最重要であります。超高齢社会の到来が予測される中、身体機能改善によるケガの防止等の介護予防をすることも非常に重要であります。日本に古く存在する柔道整復術が人のからだに潜在する能力を引き出し、心と体を元来の状態に整え、健康を長く持続させる治療法として大変効果があるものと大きく期待されております。

柔道整復師の皆様におかれましては、今後も地域に根付く夢と希望、また、安心の発信基地として、大いに活躍されますことを心より念願いたしております。私も衆議院議員として、地域の皆様が安心して暮らしていけるため引き続き精一杯努力してまいりますことをお誓い申し上げます。

結びに、京都府柔道整復師会の一層のご盛昌と会員各位のご健勝ご多幸を心より祈念し、新年に寄せるご挨拶といたします。



# 新年のご挨拶



参議院議員 二之湯 智

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、輝かしい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

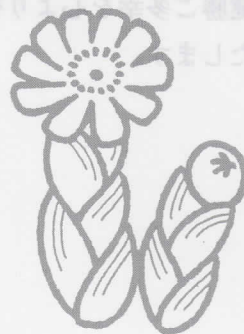
平素より、自由民主党ならびに私の活動に対しまして、格別のご指導ご協力を賜り心より御礼を申し上げます。また、昨年、参議院選挙におきましては、京都府柔道整復師会役員・会員の皆様方に厚いご支持ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

京都府柔道整復師会様におかれましては、長尾淳彦会長様を先頭に、日頃より柔道整復学術・技術の研鑽に精力的に取り組まれ、国民医療の向上はもとより、各種研修会活動や柔道を通じた青少年の健全な育成を目指す社会貢献活動などの幅広く多大なご尽力に深甚なる敬意を表します。

さて、戦後70年を経て、世界の安全保障環境は大きく変化し、国内においても、人口減少など克服すべき多くの課題があります。特に、経済においては、京都も含めた地方の実体経済は大変厳しく、これまでのアベノミクスの成果に加え、「新三本の矢」により、今後の大きな目標である「一億総活躍社会」を実現し、国民の負託にこたえていかなければなりません。

これからも京都の限りない発展と京都府柔道整復師会事業の推進のため、全力で取り組んで参りますので、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして素晴らしい1年になりますようお祈り申し上げますとともに、京都府柔道整復師会様の益々のご発展と、会員の皆様方のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げます。



## 新年のご挨拶



公益社団法人京都府柔道整復師会顧問  
参議院議員 西田 昌 司

平成 29 年の新春を謹んでお祝い申し上げます。

京都府柔道整復師会の皆様には、お揃いで新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

日頃、皆様方には、格別のご芳情を賜り、厚くお礼を申し上げます。

わが国において『柔道整復』は、日本独自の生業であり、古くは「ほねつぎ」、今日では「整骨」「接骨」と呼ばれ、国民の暮らしに根付いた伝統医療として柔道整復が地域の人々のケガの予防や治療、健康増進に大いに貢献してきたことは言うまでもありません。また、WHO（世界保健機構）で「Judo Therapy」として世界に認知されていると伺っております。貴会におかれましては、長尾淳彦会長を中心に皆様方の強い絆

のもとに、国民の柔整業務に対する、社会的要請に応えながら、災害救護や防災訓練への協力、ならびに各種スポーツ大会のボランティア救護活動等、さまざまな活動を通じて国民の健康増進に情熱をもって貢献され、確かな知識と技術を備えたスペシャリストとして活躍されておられます事に心から敬意を表する次第であります。

現在、わが国は世界に例をみない長寿国家の時代を迎えており、国民が安心して、生きがいをもって暮らせる豊かな社会として築き上げることが重要であります。そのためには、医療サービスの質の向上を目指していくための努力が各所において強く要請されております。

今後におきましても貴会の皆様方が、これまで培ってこられた実績と信頼のもとに柔整業務を通じて府民の健康増進に寄与して頂きますよう心よりお願いいたしております。

私も皆様方のご理解、ご協力のもとに、国民生活の向上と京都府発展のため、微力ではございますが全力を尽くす決意であります。

結びにあたり、今後とも更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、京都府柔道整復師会のご発展と、会員皆様方のより一層のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。



## 新年のご挨拶



京都府議会自民党議員団  
代表幹事 田中英夫

新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人京都府柔道整復師会の先生方におかれましては、平成29年の新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

本年が先生方にとりまして素晴らしき良き年となりますよう年頭にあたり心よりお祈りいたします。

京都府柔道整復師会におかれましては公益社団法人として公共の福利のために日々ご活躍いただきつつ、先生方には日頃より地域に密着した医療や救援救護、青少年育成活動など幅広いご活動を通じて府民市民の健康と安心安全の推進にご貢献いただいているところであり、改めまして深甚なる敬意と感謝を捧げる次第です。

本年もより一層のご活躍あらんことをお祈りいたします。

特に今、本府においても安心安全の構築が重要な施策課題となっています。地震や水害から国土を守る強靱化と共に、人々の健康と生活面での安心安全、特に高齢者の方々の健康と日常生活を満足に過ごせるための施策が重要な課題となっています。今後も高齢化への比率が加速度的に進んでゆく中で、柔道整復師の先生方が、高齢者の方々の日々の健康保持や、また、介護の場における施術、治療、居宅支援など広い分野でのご活躍を賜っていますことは、人々の日々の生活の中での健康や安全安心こそ行政にとって最大の福祉であり使命であると考えます時、そのご尽力に改めて深く感謝申し上げる次第です。

また、後になりましたが、去年は参議院選挙につきまして、あついご支援を賜り誠にありがとうございました。京都府柔道整復師会の皆様には常に自由民主党への、そして我々地方議員にもあたたかいご支援をいただいていますこと、心より感謝申し上げ、今後とものご鞭撻をよろしくお願いいたします。

結びにあたり、本年が皆様にとりまして最良の年となりますよう、併せて長尾淳彦会長様を先頭に公益社団法人京都府柔道整復師会の益々のご発展と会員先生方のご繁栄を心よりお祈りし、新年のごあいさつといたします。



# 新年のご挨拶



公益社団法人京都府柔道整復師会顧問

京都府議会議員 片山 誠 治

新年明けましておめでとう御座います。公益社団法人京都府柔道整復師会の諸先生方におかれましては、輝かしい新年をご家族お揃いでお健やかに迎えのこと心よりお慶び申し上げます。

貴会におかれましては常日頃より長尾淳彦会長を中心とされまして、柔道整復を通じての施術や治療、また、後進の育成にとどまらず、社会情勢を的確に捉え、未来を担う青少年の健全育成や介護現場に携わっておられる方々への介護予防活動、救護活動など多岐にわたる公益性を伴った諸活動を展開されておられますことに、衷心より敬意と感謝を表します。

日本の高齢化は先進国でも最も速く進行し、今後どの国よりも高い水準で上昇が予測される昨今、京都府民の特にお年寄りに対しての、健康増進と健全な体力維持のために、また、京都式地域包括ケアシステムにおいても、貴会が果たされる社会的役割は今後益々高まっていくものと強く確信しております。府民が安心して暮らせる社会の一翼を担っておられる貴会におかれましては、本年も尚一層の充実した活動を続けていただきますよう心より念願いたします。

貴会の顧問として諸活動に関わらせて頂き、豊かで明るい京都府の実現と、京都府民の皆様が健康で長生き出来、そして安心・安全が担保される京都府の構築のために、情熱を持って鋭意努力・邁進して参りたいと決意を新たにしておりますので、今度ともご指導の程よろしくお願いたします。結びに、公益社団法人京都府柔道整復師会の更なるご発展と、会員の諸先生各位のご活躍を心よりお祈りいたしまして年頭のご挨拶といたします。



## 新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。公益社団法人京都府柔道整復師会の諸先生方におかれましては、輝かしい新年をご家族の皆様とお健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

長尾淳彦会長を始め京都府柔道整復師会の皆様方には、「日本の伝統医療」である柔道整復術を通じ、府民の健康保持増進はもとより、柔道を通じた青少年の健全育成活動やスポーツ大会における救護活動など多岐にわたる社会活動を通じて、安心・安全な健康社会づくりに多大なご貢献をいただいておりますことに対し心からお礼申し上げます。

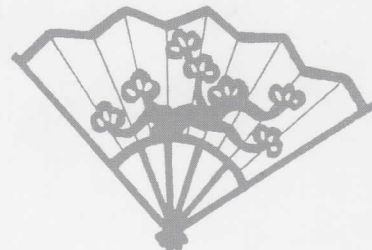
公益社団法人京都府柔道整復師会顧問

京都府議会議員 **村田 正治**

さて、我が国では世界に類を見ない早さで高齢化が進展し、2025年には5人に1人が75歳以上の高齢者になると予想されており、介護サービスの需要が大きく増加することが見込まれています。このような中、解決すべき課題は山積していますが、なかでも高齢者の方がいきいきと生活していくために、身体機能の維持など、介護予防を推進することが何より重要となります。

このような中、京都府柔道整復師会では、地域包括ケアの担い手として、介護の現場で活躍する機能訓練指導員を養成するための講習会の開催など専門的人材の育成、さらに柔道整復を通じて施術や治療、居宅介護支援などを行うことにより府民の皆様が地域で自立した生活を継続できるようご尽力いただいております、府民の安心安全に向けた皆様のご活動に対し心から敬意と感謝を申し上げます。私も京都府議会議員として、高齢者の皆様が住み慣れた地域で、安心して暮らすことのできる地域社会の構築に向けて誠心誠意取り組んでいきたいと存じますので、今後ともご指導いただきますようお願いいたします。

結びに、公益社団法人京都府柔道整復師会のますますのご発展と、会員の諸先生のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして年頭のごあいさつといたします。



# 新年のご挨拶



公益社団法人京都府柔道整復師会顧問  
京都市会議員 橋村 芳和

新年あけましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新年をお迎えされましたことを心からお慶び申し上げます。

先生方におかれましては、日本が世界に誇る伝統ある柔道整復を通じて市民の健康の増進のため、日々従事され、そのご活躍に感謝申し上げます。近年は健康長寿が大きく叫ばれる時代にあつて、その社会的使命はより重要になっております。一層のご尽力をお願い申し上げます。

京都市では本年4月より市民と行政が一体となり、子どもを社会の宝として大切に育む生活文化を「はぐくみ」文化として創造し、発信すべく、「子ども若者はぐくみ局」が新設されます。先生方には柔道を通じて子どもたちののびやかな育成に貢献されておりますことにも、深く敬意を表するものであります。

また、昨年は2月の京都市長選挙に7月の参議院選挙が続き、大変慌ただしい一年でありましたが、厳しい環境の中にあつても一貫して自民党をご支援いただきましたことに対しても、心より御礼申し上げます。

さて、私は現在、自民党京都市会議員団の代表幹事として、市政の発展のために二元代表制の下で市長と議会が車の両輪として円滑な運営を目指すとともに、市民の皆様には議会の活動がしっかり「見える」「伝わる」「わかりやすい」取組を積極的に推進致しております。

思い返せば平成3年の初当選以来、長尾淳彦会長はじめ、会員の皆様の温かいご支援とご指導のおかげであると強く実感致しております。重ねて厚く御礼申し上げます。

来る2月には、平成29年度の予算を審議する2月定例会が開会致しますが、日頃より皆様からいただいたお声をしっかり市政に反映をし、福祉と医療の先進都市京都の実現のため全力を尽くして参ります。

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。結びに、京都府柔道整復師会の益々のご発展と皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。



# 新年のご挨拶



副会長（筆頭） 柴田 宗宣

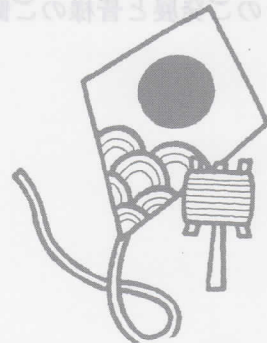
新年明けましておめでとうございます。会員の先生方ご家族の皆様には、お健やかに新年をお迎えになられましたこと、こころよりお慶び申し上げます。昨年は4月の熊本地震、8月の北海道での大雨による天災や異常気象が原因となる惨事が目につくこともありました。2014年、2015年に引き続きノーベル賞を受賞するなど明るいこともございました。そして海外では11月にアメリカ大統領がドナルド・トランプ氏に決まりその影響は日本だけでなく世界全体にも起こるのではないかと考えられます。また、本会では昭和59年から慣れ親しんで参りました東山の会館から壬生の仮事務所に移転して参りました。仮事務所には駐車場やエレベーターが無く会員の先生方には大変ご迷惑をお掛けしております。このことを解決するため新会館の建築、移転は急務と考えております。そして会員の先生方のご意見をいただき、今後起こるかも知れない大きな変化に十分耐えられるものになれば、会館移転を決意した意味がないと思っております。

さて、2015年6月に始動しました新執行部のテーマは「柔道整復師の信頼の回復」でした。柔道整復師の業務からは想像もつかないような癒しやエステの看板を掲げた接骨院・整骨院が増え、一部の心無い柔道整復師がマスメディアを騒がせ、療養費支払い審査の厳格化どころか、療養費受領委任払い制度を無くした方が良

いと言われる方もおられます。この急落した信用を回復するには個々の会員の先生方が患者さんとの信頼関係を構築するのは勿論ですが、公益社団法人のもとコンプライアンスのある本会会員と単なる保険請求団体や個人契約者との違いを今以上に、公益社団法人の組織力を強化して行政や保険者に積極的にアピールすることと考えております。行政、保険者の担当の方は2年もすれば部署を交代されますので、本会が会員に学術講習会で最新の治療方法の習得や保険講習会で変更等のあった保険情報を周知徹底して行政機関や保険者に協力していること、そして柔道整復というものをご存じない担当者が、我々が考えている以上に多いのも事実です。

本年も京都府からの補助金事業にも応募させていただきます。そして現在お話しをさせていただいております京都府警との協定を締結させて他団体との違いを示していきたいと考えております。組織力とは遂行能力＝業務や物事を着実に実行していく力と戦略能力＝外部環境の変化に適応していく力を合わせたものとスケールメリットです。今後如何に会員数を増やすことがガバナンスのある柔道整復の業界構築につながり我々の地位向上になるものと考えております。そのためには公益社団法人の会員にメリットのある事業を計画実行することが執行部の使命と考えております。

柔道整復師は日本国が認めた国家資格です。公益社団法人も日本国が認めた公益性の高い団体です。我々、公益社団法人京都府柔道整復師会は行政や保険者に対して公益性の高い事業を開催することで信頼回復をして参りたいと考えております。本年も諸先生方のご協力を賜りますことをお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶



副会長  
保険部長 林 啓 史

あけましておめでとうございます。

旧年中は本会の業務推進に多大なるご協力とご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年11月13日に実施されました保険講習会、京都接骨学会には約370名の出席者があり5階のホールに入りきれず、約60名が4階の柔道場に用意されたディスプレイを見て受講される状況で、さらに会員外の出席者が応分の受講料を負担して多く参加されていたのが目立ちました。会館最後のイベントで多くの会員が会館に惜別の情をもって参加され、帰宅されたことと推察できました。多数ご出席された会員の先生方、開催に携われた関係各位には改めてお礼申し上げます。

最も身近で、柔道整復師の業務に係る重要な事柄、昨年の料金改定についてご説明いたします。昨年9月の料金改定には、保険者から難しい要望案が数々提起されたにもかかわらず付帯事項とマイナス項目が一切付かなかった上、柔道整復師の資質の向上にかかわる制度改革などが行われる運びとなりました。この点について日整広報誌(2016/11秋号)から抜粋し下記の通りまとめてみました。

- 厚労省地方厚生局の指導監査強化(人員増などにより)
- 公的審査会の権限強化(申請書の返戻、患者調査、施術者調査、施術者からの聴取の権限を付与)
- 施術管理者の資格要件の見直し(3年間の実務経験、研修・講習会受講の義務化)

●養成校のカリキュラム等の改正(単位数が85から99に、最低履修時間数を2,750時間に設定、ほか。厚労省保険局ではなく医政局所轄の「柔道整復師学校養成施設カリキュラム等改善検討会」が開催されて養成校における教育内容等の事項が大幅に見直され改善が具体化すると共に国家試験問題の改正にも波及)※長尾淳彦会長が検討会に関係職種代表の一員として参加されています。

●電子請求の導入に向けて、電子申請をモデル事業として実施

毎回の料金改定では、付帯事項とマイナス項目の方にむしろ関心が高く常に神経をとがらせてきたわけですが、まずほっと胸を撫でおろしたところではないでしょうか。更に制度改革が実現することになり、日整保険部が画的であると自賛するのは十分納得できるものです。

昨年4月の京柔整会報の巻頭言の拙稿の見出した「ピンチをチャンスに変えチャレンジして行く」は、かの有名なピーター・ドラッカーの格言「まず何よりも、変化を脅威ではなく機会としてとらえなければならない」に共感するものですが、この「変化」に関して、世界では英国のEU離脱、米国のトランプ次期大統領決定など「あり得ないこと」とされたことが起きたことになぞらえて、起こりえないと思われた事柄が次々と実現する不確実性の時代の到来といえるようです。このような変化が私たちの身边にも発生し不測の事態が起きるのではないかと考えるのは取り越し苦労でしょうか。

今のところ(と敢えて言わせていただきます)良い話がない業界ですが、日々厳しさに耐えて院を経営されている会員の先生方にとっては、決して患者さんとの情報の非対称性によりかかった短絡的なメソッドではなく、真実をもって、そして企業がよく用いているライフタイムバリュー(LTV-顧客生涯価値)の基点で対応されることと、多くの情報に接する機会を逃さず、せめて本会の主催の保険講習会、京都接骨学会などの行事に皆勤して多くのことに気づき、戦略を練っていただくことをお勧めします。貪欲になれば有用な情報はたくさんあります。11月13日の参加人数から危機感を感じる方が多くなってきたことが窺い知ることができます。

最後になりましたが、諸先生方のご多幸をお祈り申し上げます。

# 新年のご挨拶



総務部長 中田 康人

あけましておめでとうございます。

旧年中は関係各位にご協力を賜りながら、総務部活動を行うことができました。年頭に当たり厚く御礼を申し上げます。

新年も日本の伝統医療としての柔道整復を皆様に提供し、公益社団法人の一員として社会の健康福祉に貢献できますよう活動してまいりますので、倍旧のご指導ご鞭撻を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さて、先に述べましたが、柔道整復は日本の伝統医療として世界保健機構で紹介されております。そこで、新年を迎え柔道整復の伝統と歴史を柔道整復師法から振り返りました。

柔道整復は、明治以前は非観血的外科学の臨床家として制約なく自身の判断で施術を行っていましたが、明治初頭に医制が施行され国家試験を受け免許を得ることが必要となりました。

大正期になり「柔道接骨術公認期成会」の活動が功を奏し、大正9年改正の「按摩術営業取

締規則」第5条の2に「按摩は、脱臼、骨折の患部に施術を為す事を得ず。ただし、医師の同意を得たる病者についてはこの限りにあらず。」と定め、付則に「柔道の教授を為すものにおいて、打撲、捻挫、脱臼及び骨折に対して行う柔道整復術については、本規則を準用する。」とされ、ようやく柔道の教授が行う柔道整復術について有効性の法的根拠を得ることができました。

昭和21年に「柔道整復術営業取締規則」が制定されたのち、約4千人の会員による陳情活動の結果、昭和45年に単行法としての「柔道整復師法」が制定交付されました。この法律こそ現在の柔道整復師法の源泉につながる法律であり、先人が苦難を克服して勝ち獲った証だと思ひます。

今般、残念なことに業界の乱れが報道を賑わしております。現在の業界に携わる者として諸問題が山積する業界を立て直す為、そして柔道整復という伝統医療を継承する為に先人の功績である柔道整復師法を今一度読み直してみたいと思ひます。

柔道の創始者・嘉納治五郎師範の言葉に「伝統とは形を継承することを言わず、その魂を、その精神を継承することを言う。」とあります。

京都は創業100年を超える老舗の数の多いことで有名です。このように歴史や伝統を生かし続ける精神を潜在的に持っている京都人として、京都府柔道整復師会は今後も柔道整復の伝統を守り続けてまいります。

末筆になりましたが、関係各位の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

## 新年のご挨拶



事業部長  
保険副部長 中村 英 弘

新年あけましておめでとうございます。

会員の先生方、ご家族の皆様、関係各位におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、事業部および保険部の運営に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、長く親しんでおりました東山の京柔整会館を売却し、新会館建設に向けて現在仮事務所にて会の運営や事業を行っておりますが、関係各位にはご不便をおかけしております事をお詫び申し上げます。

さて、事業部の事業においては、公益目的事業を中心に柔道・介護・救護・居宅介護支援事

業・介護予防推進センターなどの事業を進めるにあたり、会員の先生方のご理解とご協力により成り立っているものと感謝しております。

本来、柔道整復師は、骨折・脱臼・捻挫・打撲・挫傷といった外傷を非観血的に徒手によりきちんと治すのが仕事であります。長い歴史の中で、国民に信頼され、愛されてきた柔道整復術ではありますが、最近、遺憾に思う記事が新聞紙上に掲載されることがあります。同じ資格を持ち同じ仕事をしているはずなのですが一部の人間のために、柔道整復師や業界が全て同じようなことをやっているかのように思われてしまう事が残念でたまりません。

いつまでも、今までのようにしていたら業界は衰退せざるを得ません。

全国すべての柔道整復師がこの仕事を志した原点に戻り、法令を遵守し仁術である柔道整復術をもう一度国民に更に信頼され愛される医術として蘇らさなければいけない時期であります。先生方の地域の中で柔道整復術を行うのはもちろんのこと、地域包括ケアシステムの一端を担うために介護や福祉の知識も必ず必要になってきております。お互いに日々研鑽して会員の先生方と共に危機的な状況を改革していければと思っております。

今年も、事業部・保険部事業運営に格別のご支援を賜りますことをお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 新年のご挨拶



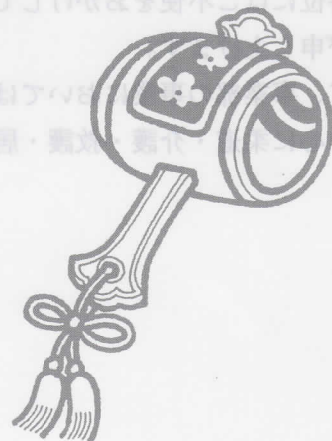
事業副部長 岡田 達也  
柔道・伏見地域介護予防推進センター担当

新年あけましておめでとうございます。  
会員の先生方やご家族、施術所スタッフ、関係機関の皆様方におかれましては健やかに新年をお迎えになられましたことをお慶び申し上げます。  
さて、去年は鶏の絵師・伊藤若冲生誕300年ということで、日本各地で企画展が開催されました。京都においても所縁の寺社や美術館・博物館において展覧会が開催され、多くの来場者でにぎわいを見せておりました。奇想の画家とも称される若冲ではありますが、決して奇をてらった技法を好んだのでは無く、古来よりの仏画の伝統技法「裏彩色」や、鉾物由来の顔料と水溶性の染料を調合することにより、それぞれの特徴を生かして豊かな表情を引き出しています。我々の業界も奇をてらった戦略を行ったところで地位向上や社会的認知は不可能と思います。忠実に先人達の築き上げた技術や精神性を維持しながら平成の時代に沿った革新を行い、

現代の日本が直面している超高齢社会への対応力を構築していく必要があると感じます。

京都市においては本年4月より、介護予防・日常生活支援総合事業への移行がひかえております。全国的にみても京都市は独自性を強めた政策が見られ、他の市町村で実施されている柔道整復師を活用した地域支援事業は実現しておりません。しかし、各行政区にある介護予防推進センターにおいて一部地域の委託を受け業務しております。今年度は新総合事業において「短期集中運動型」いわゆるC型への参入を検討し、本会の新たな事業収入獲得を目指します。

会館の売却・仮事務所への移転、新会館建築準備、地域包括ケアシステムの稼働、新総合事業への移行、目まぐるしく環境が変化し新たな課題が発生していく中で、奇をてらった戦略ではなく柔道整復師の本分をわきまえつつ、決してひるむ事無く主義主張及び行動を起こしていきます。バタつく鶏ではなく、若冲の「仙人掌群鶏図襖絵」のように威風堂々とした執行部役員でありたいと思う所存です。





## 新年のご挨拶



経理部長 谷山 和 浩

あけましておめでとうございます。年頭にあたり会員の皆様にご挨拶申し上げます。

長尾淳彦会長のもと、早いものでもう1期2年が過ぎようとしています。この間、無我夢中で理事職を行ってきました。

我々を取り巻く環境は、アベノミクス効果も感じられず、アメリカではトランプ氏が大統領になり世界的に先行き不安定な状況にあります。

その中、私は経理部で毎月の理事会にて収支報告を行っています。手探り状態ではありますが、出来るだけわかりやすい資料作りと数字の見える化を心がけ取り組んでおります。

同じ情報を見て全員が同じ認識ができる様、シンプルでわかりやすい共通の判断基準となる資料作りを心がけています。

これにより、数字やグラフが異常の発生を知

らせる警報となり、理事の方々の眼力も養われ、理事会での意見も活発になってきたと思います。

最後に、行政においては、不正請求対策の強化、養成カリキュラムの見直しなどの取り組みが始まろうとしています。

このような時代こそ、京都府柔道整復師会の果たすべき役割は、コンプライアンスの重要性と危機管理能力の充足を説き、柔道整復師が一致団結し、知識、技術を向上させ、同じ理念で一丸となって信頼される立場で地域医療に取り組んで行く事であると思います。

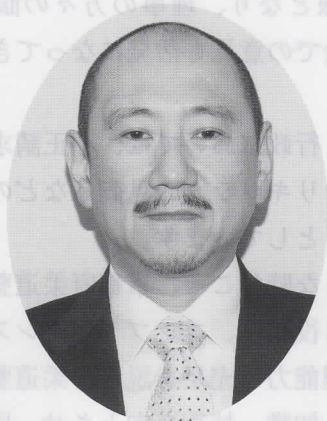
今年も長尾会長のもと、筆頭副会長の柴田宗宣副会長の指導を受けながら、力の限り尽くす決意しております。

また、役割は違いますが、本会と協同組合が協力し会員と組合員のためになるよう、私は、本会と協同組合の橋渡し役を積極的に努めて行きたいと思っております。

役員・部員・会員の皆様方のご支援をいただいで責務を全うしたいと存じますので、今年も何卒ご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



## 新年のご挨拶



広報部長 中川 稔 貴

あけましておめでとうございます。

新春を迎え、皆様ご家族様にとって輝かしい一年になりますように祈念申し上げます。

旧年中は、広報部にご理解とご協力をありがとうございました。また昨年末は、会館の引っ越しにご理解とご協力を頂き、執行部の一員として御礼申し上げます。さらに新会館に移転まで、引き続きよろしくお願いたします。

去年、世界では「パナマ文書」タックスヘイブン（租税回避地）問題、英国の欧州連合離脱、各国でのテロ、地震・豪雨・台風・火山噴火などの天災、そして各国のリーダーの発言や行動で賑やかされた一年でありました。日本では芸能界やスポーツ界の不正薬物使用・賭博行為、企業の偽装問題、食の安全を脅かす廃棄食料の転売、高齢者の自動車運転事故など「嘘」と「安全」について問われる一年でもありました。

新アメリカ大統領の判断次第でまだまだわかりませんが、環太平洋経済連携協定（TPP）において、日本における保険制度も諸外国からの圧力がかかるかも知れません。そして医療費の増加、国民負担増など、やはり私たち柔道整復師にとっても安心をして施術する環境が整うのか疑問や不安がつきまっています。今一度、足元を踏み固める必要があるのではないのでしょうか。

さて、去年のドラマで石原さとみさん主演の「校閲ガール」が話題になりました。年始にあた

り「校閲」といった言葉を含めて広報部事業の一つ、京柔整会報やホームページへの投稿の流れをご紹介させていただきたいと思います。作業としては、「文章作成」→「推敲」→「校正」・「校閲」といった段階で進めています。

「文章作成」は会員や関係各位の投稿者が、執筆します。

「推敲」は、執筆者が自分の書いた文章をじっくり読み直して、おかしい所や悪い所がないかを客観的に拾い上げ、直して行く作業のことです。文章を何度も練り直すという意味です。（テーマ・主題がハッキリしている文章になっているか。論理的に矛盾のない文章になっているか。同じような事を重複して述べていないか等）ここまでは、執筆者が行う作業となります。

そして「校正」では、広報部員が手分けをして文章の誤字・脱字や誤植を見つけ、修正していく事が主な目的となります。そして同時に「校閲」、文書や原稿などの誤りや不備な点を調べ、誤りを訂正し、不足な点を補う提案を執筆者に届けます。そして「校正・校閲」を3回程繰り返し冊子の発刊やホームページの更新を行っています。京柔整会報は年4号、ホームページは毎月更新と必然的に自宅作業と会議が多くなり、広報部員の頑張りに助けられています。

去年に引き続き、広報部活動としましては京柔整会報（広報機関誌）や京都府柔道整復師会ホームページにおいて本会の活動や情報を公開して、行政・保険団体・国民に柔道整復師・柔道整復術の周知とご理解いただく活動をおこなっております。京都府柔道整復師会ホームページにおいてはさらに、本会会員と他団体・個人契約者の差別化をする為に、接骨院・管理者の情報を公開しております。会員専用ページでは、各部に関する情報の提供や様式のダウンロードなどを提供しています。随時、更新をしていますのでご確認下さい。

今後も情報をお伝えすると共に、会員のお役に立てるように内外に発信して参ります。皆様からの、ご投稿やご意見をお持ちしております。

最後に、本会の理事の任期も残すところあと半年となり、長尾淳彦会長のスローガン「柔道整復師の信頼の回復」に向けてなお一層、努力してまいります。皆様のご指導ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願いたしまして新年の挨拶にさせていただきます。

## 新年のご挨拶



學術部長 綾田 剣一

明けましておめでとうございます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員、そのご家族におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は本会の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

どうか本年も倍旧のご支援ご厚情を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

昨年12月より32年間慣れ親しんだ大和大路五条の京柔整会館から千本松原の仮事務所に移転し、理事ならびに事務局は心機一転し会務に励んでおります。

会員の皆様におかれましては移転に伴い交通の便が良くなった方、悪くなった方さまざま

ですが、一刻も早く新会館の設立に向け尽力をしておりますのでよろしくお願いいたします。

旧会館32年間に、われわれ柔道整復師を取り巻く環境は大きく変化してきております。

柔道整復師養成施設数は平成10年に14施設(定員1050人)だったのが平成27年には109施設(定員8797人)になっております。接骨院の数が急増し、競争が激化し質の低下も懸念されております。数ではコンビニエンスストアの数を上回る勢いです。激しい競争で収入が得にくいという状況となってきております。このような状況の中、昨今報道されていますように健康保険を悪用し保険を架空請求、水増し請求するなどして収入を得る者が出てきております。

公益法人として、年々増え続ける柔道整復師に医療人としてのモラルとコンプライアンスを徹底的に指導し、不正に対しては本会会員、会員外を問わず厳しく接して許さず、そして隠蔽せず。自浄作用のある組織を作り、自らを厳しく律することにより初めて国民や行政の信頼が得られるものと思います。

われわれ柔道整復師は前途多難ではございますが、京都府柔道整復師会会員の皆様のご理解とご協力をいただき、長尾淳彦会長をはじめ各理事や事務局が力を合わせて一丸となって乗り越えていく所存でございます。

最後になりましたが、本年が会員の皆様にとって実りの多き年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 新年のご挨拶



学術副部長 田中弘昭

会員諸先生方や御家族の皆様におかれましては、お健やかに輝かしい新年をお迎えの事と、お慶び申し上げます。旧年中は学術部の活動に多大なるご理解・ご協力を賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

昨年の重要案件の1つでありました会館移転がようやく完了いたしまして、仮事務所ではございますが新たなスタートを迎える事になりました。今後2年くらいを目途に、新会館へ再度移転する予定でございます。会員の先生方には、多々ご不便をおかけする事もあろうかと思っております。昨年12月18日(日)に平成28年度京都府医療従事者の資質向上研修事業「在宅で療養する運動器疾患を有する者に対し柔道整復術を実施するための研修事業」が舞鶴会場で開催されました。座学と実技の2部構成となっており、座学では「訪問活動をする上での心得～地域支援事業の立場から～」と題して、大浦・朝来・志楽地域包括支援センターでセンター長をされておられます柴田崇晴様、実技では「運動器

疾患を有する高齢者に対する日常生活動作介助法の習得」と題して、京都リハビリテーション病院から理学療法士、万谷健様、介護老人保健施設深草京しみずから理学療法士、山本あいね様、江口輝行様の3人体制で実技中心の指導をしていただきました。参加された66名の先生方はとても熱心に受講されていました。

今回、舞鶴での開催となりました関係上、北丹支部と中丹支部の先生方を中心に、実行委員の先生方には早朝から会場まで来ていただきまして、受付業務や会場設営、ベッドや車椅子の保管・運搬などなどひとかたならぬお世話をしていただきました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

さて学術部では、春と秋、年2回開催される京都接骨学会、柔道整復師養成学校との合同講習会の開催、超音波セミナー等々を行い柔道整復師の資質向上及び柔道整復学並びに柔道整復術の進歩発展に寄与してまいりたいと思っております。

今年度残っている行事と致しましては、2月に平成28年度京都府医療従事者の資質研修事業、そして3月に第68回京都接骨学会を京都テルサにて開催する予定です。担当支部は南丹支部、中丹支部、北丹支部の3支部で、その中から選出された先生です。後は応募された先生が発表者となります。奮ってご応募頂きますようお願い致しております。また、1月・3月に超音波セミナー開催の予定です。

最後に、会員の先生方や本会の発展の為、学術部で出来る事は精一杯頑張っていく所存でございます。

今後共、ご指導ご協力の程、宜しく申し上げますと共に会員諸先生方の益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

## 新年のご挨拶



監事 見原 誠

新年、明けましておめでとうございます。

旧年中は、会員及び関係各位の皆様には、本会の活動にご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

去年は、会館の仮移転や、現在も進行中ではありますが、京都府医療従事者の資質向上研修事業等、本会や柔道整復師の未来に向けた事業が、少しずつ具体化してまいりました。会館につきましては、今後、新会館への移転を立地や今後の存続性等、様々な条件をもとに検討され、できるだけ早く新会館に移転できるよう進んでいくと思われまふ。京都府医療従事者の資質向上研修事業は、一昨年行われました京都府

在宅療養従事者確保支援事業の一環として行われた認知症対応力向上研修等とともに様々な場において柔道整復師として活躍できる力をつけるための取り組みです。特に京都府医療従事者の資質向上研修事業は、舞鶴市でも北丹支部の先生方のご協力のもと開催され、より充実した事業になったと思います。またテルサ会場は、募集開始間もなく定員に達してしまい、思った会場での受講ができない等、ご不便をおかけするほど先生方の熱心さと関心の高さがうかがえます。本年も通年の学会や保険講習会、救護や介護等の事業の他にも新たに様々な取り組みがなされると思いますが、ご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。

昨年監事の業務を通し、本会業務執行を見させていただき理事や部員の先生方が会員の利益のもと懸命に努力されている姿を何度も拝見しております。また、事務局も職員の退職により大きくメンバーが変わりましたが、推進事業、やわら会（介護支援事業）、協同組合と職員のサポート体制も整い、今後益々充実していくことと期待しております。

本年も会員及び職員、関係機関の皆様のご活躍をお祈りしますとともに当会への変りないご支援をお願い申し上げます。



# 新年のご挨拶



京都府柔道整復師協同組合  
理事長 関 弘 美

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様には希望に満ちた新たなる年をお迎えになられたことと存じます。

旧年に増して協同組合のご愛顧とご利用をお願いいたします。皆様に組合の概要についてご説明させていただきます。

- ①組合創立委員会の設置
- ②組合の設立（平成元年）
- ③組合運営の安定化（共同購買や保険事務手数料など組合経営が安定しました。）
- ④インターネットによる商品販売のシステム化を1300万円の国の補助を受けて完成しました。
- ⑤近畿に事業活動の広域化を目途に協同組合連合会を設立しました。
- ⑥レセプト用紙の販売が組合の自主性を持って出来るようになりました。本会長尾淳彦会長

の深いご配慮により実現いたしました。

- ⑦組合に所属して鍼灸のレセプトの代理請求するシステムも完成されています。支払団体とのトラブルありません。是非ご利用ください。委託料も安価であります。基本的には会員の利益拡大を主眼としております。
  - ⑧5年ほど前に大切なインターネット販売にシステムにウイルスが入り使用不能になりました。そこで国による補助金約800万円を再度受けまして、専門家による委員会を発足し苦難の結果システムを構築し、利用開始となっております。
  - ⑨インターネットによる斡旋販売システムもほぼ完成しました。インターネットを利用しておられる組合員の方は是非ともご活用ください。自宅で購入したい商品を注文し自宅で受け取ることができます。
  - ⑩デイサービスを設立して機能訓練指導員を事業所に派遣する組織の設立を検討いたしましたが、昨年4月の介護保険法改定による事業所の大幅赤字の予測があり、29年4月にも京都で制度改革があり、不透明なところもありますのでデイサービス設立のプランは中止いたしました。
  - ⑪新しい事業発足には見通しをしっかりと定める必要があります。
- 柔整業界は暗黒の時代に入っております。自分の足場をしっかりと固めて新たなる地位を模索する必要があります。今年も組合執行部及び事務局一同、業界隆盛のために頑張りますのでよろしく願いいたします。

# 旧京都府柔道整復師会館での集合写真



重光 経理部



保険部



本会役員・事務局長



学術部



事業部

# 旧京都府柔道整復師会館での集合写真



広報部



総務部・柔道整復研究室



本会役員・部員・委員



京都府柔道整復師柔道連盟



柔道連盟有志



# 京都の接骨の源流を探る① 本会の黎明期

## はじめに

2014年（平成26年）に本会が創立90年、社団法人設立60年を迎えたことは記憶に新しい。また、2013年（平成25年）4月には公益法人制度改革に伴う公益社団法人への移行も完了した。2016年（平成28年）11月末には1984年（昭和59年）6月に建立された大和大路五条の会館から、千本松原の仮事務所に移転した。このような状況で先人たちの築かれてきた接骨・柔道整復の歴史に思いを馳せ、温故知新につながればとの考えから「京都の接骨の源流を探る」というテーマで特集記事を構成していくことになった。

## 接骨術の源流

京都・亀岡に生まれ育った丹波康頼によって982年に著された『医心方』は当時の中国医学書を参考に編集した全30巻の書籍で、長い間「秘本」とされ、1984年に国宝に指定されたものである。この中の『巻十八 外傷篇』において骨関節損傷の治療法が記されているとのである。フランスの外科医、アンブロワーズ・パレ（1510～1590）は近代外科の発展において重要な功績を残した。彼の整骨術に関する著書はオランダ語訳を経て華岡青洲の手に渡り、日本の外科医療に多大な影響を与えたといわれている。その後、大阪難波の高志鳳翼は中国医書を参考に『骨継療治重宝記』（1746）を著し、前野良沢と杉田玄白の『解体新書』（1774）が出版され、蘭学を究めた大阪の各務文献は『整骨揆乱』（1817）、『整骨新書、真景図』（1819）などを出版、内容は整形外科非観血療法そのものを網羅していたといわれる。同じ頃、花岡青洲は麻酔湯を発明し、門人による『花岡青洲先生整骨法図説』によって整骨術と麻酔薬が普及したとされている。



「医心方」を著した丹波康頼



「我包帯す、神癒し賜う」という自然治癒力について含蓄のある言葉を残したと伝えられるアンブロワーズ・パレ

## 武術と接骨術

陳元贊（1587～1671）が30歳の頃、渡来し、拳法や整骨術を指南したとされているが異論もあり、定かではない。18世紀末になると江戸で名倉素朴（1750～1828）が『武備心流整骨伝』を、磯又右衛門が『天神真楊流伝書』を著した。長崎では柔術の救急法に基づく整骨術の一派を成した吉原元棟（1790～1810）が外傷性脱臼整復法を伝え、『正骨要訣』を発刊、二宮彦可（1754～1827）はこれに包帯法を取り入れ『正骨範』を出版、当時一子相伝、秘伝とされていた技術を公開している。



様々な外科手術を成功させ医聖と呼ばれた華岡青洲

## 明治時代の接骨

1868年（明治元年）に入ると明治政府は西洋医学を推進していく

ようになる。1874年（明治7年）には医制が發布され、53条に「鍼治、灸治を業とするものは内外科医の差図を受けるにあらざれば施術すべからず」と規定されたが、接骨についての規定はなかった。1875年（明治8年）には東京・大阪・京都で医師開業試験が始まり、その後、漢方医などの存続は不可能となった。

1885年（明治18年）内務省通達の『入歯、歯抜、口中療治、接骨営業者取締方』により「入歯、歯抜、口中療治、接骨等営業の者は医術開業試験を経るに非ざれば新規開業不相成候条、従来営業の者は此際地方庁に於て鑑札を付与し相当の取締法相立可申此旨達候事」と各府県に通達された。これにより当時、営業中の者は医術開業試験に合格して接骨医となるか（大正末期で2名生存）、一代限りは「従来接骨業」という免状で継続営業ができたが、既得権者は減少の一途であった。

1906年（明治39年）に医師法・歯科医師法が公布、施行され、また、その年に整形外科学が日本で初めて東京大学医学部の田代義徳教授によって開講された。1911年（明治44年）には按摩術・鍼術・灸術について各営業取り締まり規則が制定されたが、接骨術については制定されず、「接骨業者は按摩の免許を取得し、医師の同意を得れば骨折、脱臼の治療を認める」とされた。

1912年（明治45年）には接骨術公認期成会が結成され、法制化運動が始まった。要求の理由として「接骨はもと柔道の奥許として伝授せられたもので柔道と接骨は古来から離るべからざる関係にあり、柔道家は皆、接骨を副業として営んできた。今この副業を営めねば道場の維持が不可能となり、日本特有の長技たる柔道が絶滅するに至る。」という主張であった。

## 大正時代の接骨

1914年（大正3年）に大審院が「医術開業試験を経た者でなければ接骨術をなすことを得ず」と判決を出した。1916年（大正5年）には柔道接骨術公認文案の作成に当たって「柔道接骨術」という名称は認めがたいという当局の意見を入れて「柔道整復術」とした。そのような経緯を経て、1920年（大正9年）按摩術営業取締規則の一部が改正され、その第5条の2「営業者は脱臼または骨折の患部に施術をなすことを得ず。但し医師の同意を得たる病者についてはこの限りにあらず」とし、附則として「柔道の教授を為す者に於いて打撲、捻挫、脱臼及び骨折に対して行う柔道整復術について本則の規定を準用す」と明文化された。そして、その年の10月に第1回柔道整復師試験が東京警視庁を初め各都道府県に於いて施行され、163名が合格された。受験資格は4か年間、接骨師に就き、その學術と実技を習得し、一定の道場に於いて柔道の教授をなすもので、受験科目は①人体解剖学②生理学③消毒学④柔道整復学で、実技試験は①口頭試験②柔道整復術実技③柔道実技であった。この時に「柔道整復」という名称が決定されたことになる。

## 京都府柔道整復師会の創立

京都府での第1回柔道整復師試験合格者の第1号は舞鶴市の香西勘平氏、第2号が京都市



二宮彦可の「正骨範」より



京都での第1号柔道整復師試験合格者、香西勘平氏



京都での第2号柔道整復師試験合格者で本会初代会長、稲葉太郎氏



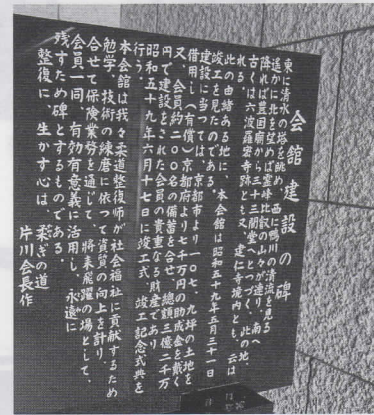
現在の東華菜館



旧会館

の稲葉太郎氏であった。1922年（大正11年）には接骨術公認期成会は発展的解消し、大日本柔道整復術同志会という名称を経て大日本柔道整復師会として発足した。京都でも同年の10月に四条大橋西詰め「八百政」（現東華菜館）に於いて京都府柔道整復師会創立第1回会合が開催された。当時は会員数も少なく、稲葉太郎、松浦新、森利三郎、斉藤勇二郎、道端徹、佐藤法賢、赤松徳明、永田永二郎、田畑昇太郎、香西勘平、清水久次郎、真継弘平、鳥越寿の諸氏であった。第1回会合で初代会長（会代表）に稲葉太郎氏が推挙され就任された。副会長（世話役）として松浦新氏と道端徹氏が推挙就任された。

（広報部 安田優二）



旧会館の碑

参考・引用文献（順不同）

- ・「社団法人京都府柔道整復師会 会館竣工記念誌」社団法人京都府柔道整復師会 昭和59年10月1日発行
- ・「社団法人設立四十周年記念誌」社団法人京都府柔道整復師会 平成6年5月8日発行
- ・「社団法人設立五十周年記念誌」社団法人京都府柔道整復師会 平成16年5月23日発行
- ・「柔道整復学 構築プロジェクト報告集」社団法人日本柔道整復師会 柔道整復学推進本部 2008年3月29日発行
- ・「柔道整復白書」社団法人日本柔道整復師会 平成15年3月30日発行
- ・「整骨学」社団法人日本柔道整復師会 学術委員会編 1979：改訂版

# 京都府柔道整復師会仮事務所のご紹介

去年の11月26日・27日両日に東山五条から千本松原に公益社団法人京都府柔道整復師会の事務所が移転いたしました。当日、旧会館から荷物が次々と搬出されるにつれ、なんとも言えない感慨深い思いがこみ上げて参りました。そこで、歴代の諸先輩から現会員・事務局職員が長年お世話になりました旧会館の引っ越し風景と新事務所設立までしばらくの間、我々の拠点となる仮事務所を写真でご紹介したいと思います。

(広報部 波多野晃彦)



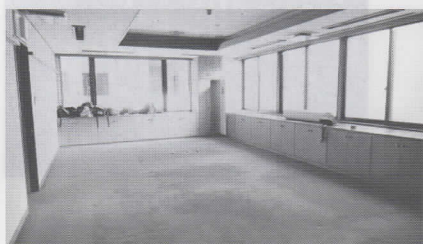
旧会館の引っ越し作業風景



引っ越し中の旧会館事務局



引っ越し直後の旧会館大会議室



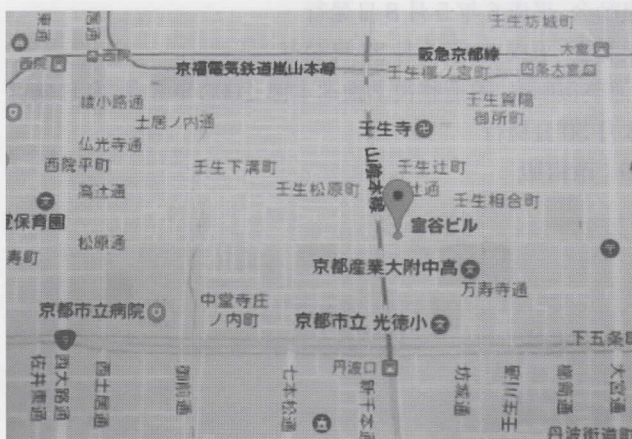
引っ越し直後の旧会館会長室



引っ越し直後の仮事務所



引っ越し直後の仮事務所



## 仮事務所へのアクセス

- \* JR丹波口駅から北へ徒歩約5分。
- 阪急・京福四条大宮駅から南西へ徒歩約10分。市バス京都リサーチパーク前停から北へ徒歩約5分です。
- \* 駐車場はありません。お車の方は近隣のコインパークをご利用下さい。

\*所在地：〒604 - 8823 京都市中京区壬生松原町16番地 室谷ビル3階

\*本会事務局： <電話> 075 - 813 - 1156 <FAX> 075 - 813 - 1158

\*居宅介護支援事業所：<電話> 075 - 813 - 1123 <FAX> 075 - 813 - 1124

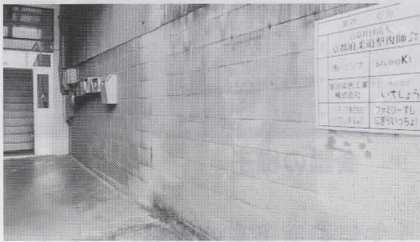
\*協同組合： <電話> 075 - 813 - 5525 <FAX> 075 - 813 - 5526



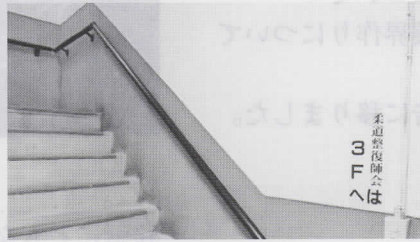
仮事務所のある室谷ビル



事務局



入口通路



階段で3階へ



居宅介護支援事業所と協同組合事務局



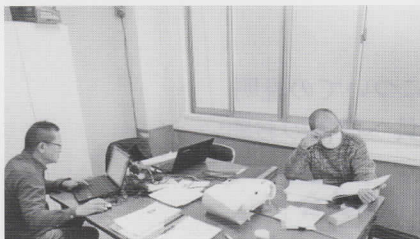
会長室



協同組合商品陳列棚と備品倉庫



レセプト提出場所



仮事務所で初の広報誌編集作業



近隣のコインパーク



近隣のコインパーク



近隣のコインパーク



近隣のコインパーク



ビルの斜め向かいにある公園と交番

# 平成28年度 全体会議

平成28年10月1日(土)17時30分よりリーガロイヤルホテル「百合の間」にて平成28年度全体会議が開催されました。

岡田達也事業副部長の司会進行のもと、会議は順次進められました。

始めに長尾淳彦会長が挨拶されました。挨拶要旨は下記の通りです。

- ・会館移転に伴う会議、学会等の会場について
- ・京都府柔道整復師会の組織率について
- ・柔道整復の資格で活躍できる業界作りについて

次に各部、各支部からの連絡・報告に移りました。



会議の様子

## 総務部

- ・理事会の決議事項の報告
- ・今年度10月、11月の事業予定の紹介

## 経理部

- ・個人番号(マイナンバー)の提供書提出お願い
- ・会務交通費登録書の案内

## 保険部

- ・10月1日からの療養費の算定基準の改正について

## 学術部

- ・第41回近畿学術大会の案内
- ・補助金事業について

## 事業部

居宅介護支援事業

- ・居宅介護支援事業所の現状について
- ・移転に伴う京都市への登録

柔道

- ・柔道大会等の事業報告
- ・今後の予定について

➡ (右上に続く)

- ・移転にともなう少年柔道事業の継続について

介護

- ・機能訓練指導員に係る事業報告
- ・医療推進協議会案内

救護

- ・救急救命講習、防災訓練の報告
- ・救護隊派遣事業への協力の呼びかけ

伏見地域介護予防推進センター

- ・推進センターの運営状況報告
- ・新総合事業開始による制度変更報告

## 広報部

- ・141号の内容についての説明
- ・支部長、通信員へ投稿のお願い

## 会館移転計画実行委員会

- ・会館移転に伴う各工程の報告
- ・仮事務所利用時の注意事項

## 各支部からの報告

- ・支部会の開催状況の報告

会場より補助金事業についての質問があり、その重要性について改めて長尾会長が説明されました。終了予定時刻を過ぎても行われた活発な意見交換に熱い思いを感じ、柔道整復師の今後の活動についての指針を共有できたかと思えます。

# 第41回 近畿学術大会 奈良大会

平成 28 年 10 月 23 日(日)、奈良県橿原市の近鉄畝傍御陵前駅近くの奈良県社会福祉総合センターにおいて公益社団法人日本柔道整復師会 第 41 回近畿学術大会 奈良大会が開催された。当日は午前 9 時より受付が行われ、午前 10 時より第 I 会場にて開会式が行われた。公益社団法人日本柔道整復師会 工藤鉄男会長より挨拶があり、過去 3 回発表の兵庫県、上演博文会員が表彰された。

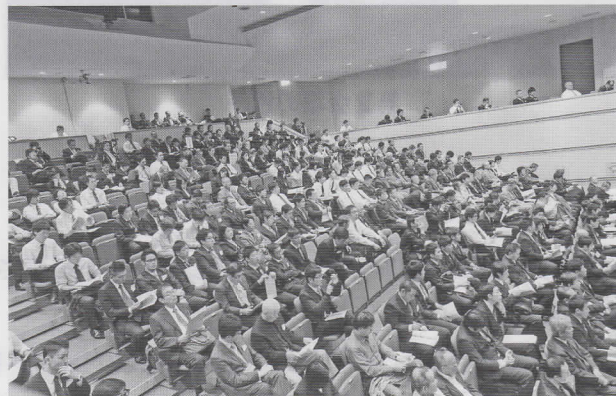
引き続き第 I 会場で奈良教育大学教授 笠次良爾先生による特別講演「スポーツ現場におけるリスクマネジメント」、さくらい悟良整形外科クリニック 榮崎彰秀先生による基調講演「肩関節拘縮の運動療法 -理学療法士からの視点-」が行われた。今回の近畿学術大会も例年と同じく第 I 会場で論文発表、第 II 会場で養成校のポスター発表、第 III 会場で超音波画像小委員会の活動報告、展示会場で医療機器展示を並行しての開催であった。本会からは第 I 会場で南山城支部、上村雅章会員の



奈良県社会福祉総合センター



第 I 会場発表の表彰者  
(中央は川口貴弘実行委員長、安田剛学術大会総務)



第 I 会場の様子



第 II 会場発表の表彰者①  
(中央は川口貴弘実行委員長、安田剛学術大会総務)



第 II 会場発表の表彰者②  
(中央は川口貴弘実行委員長、安田剛学術大会総務)



第Ⅰ会場で座長を務める池辺徹学術部主任



第Ⅱ会場で座長を務める脇坂謙三委員（奥中央）



第Ⅲ会場の様子



医療機器展示会場

「鷺足炎の一症例について」と題した論文が発表された。（上村雅章会員が欠席のため、中森稔博学術部員が代読された。）

また、本会から実行委員として多数の会員が参加されていた。参与として栗原壽雄名誉会長、実行副委員長として長尾淳彦会長、総務として林啓史副会長、学術副委員長として綾田剣一学術部長、田中弘昭学術副部長、座長として、池辺徹学術部主任、脇坂謙三柔道整復研究室委員、学術委員として栗原武弘学術部主任、ビデオ係として波多野晃彦広報部員、梅谷慎二広報部員、近畿超音波画像観察小委員会の委員として藤村高弘学術部員、PC係として熊中基弘柔道整復研究室委員などの会員諸氏が運営にあっていた。大会スローガンとして「深まる探求心、高まる行動力」を掲げ、「近畿はひとつ！」を実行委員の合言葉として、熱意をもって取り組む関係者の姿勢が爽やかな大会であった。今回の参加者は588名とのことである。

最後に、来年は和歌山で近畿学術大会が開催される報告とともに、再会を約束されて幕がおろされた。

①香淳会の実業部会Ⅰ期  
 (香淳会大審学順田実、委員委行実部責口川以央中)

①香淳会の実業部会Ⅰ期  
 (香淳会大審学順田実、委員委行実部責口川以央中)



# 第67回 京都接骨学会 保険講習会

平成28年11月13日(日)京都府柔道整復師会館にて第67回京都接骨学会保険講習会が行われました。会場は来場者が多数の為、4階柔道場と5階ホールに分かれて行われました。会員だけでなく京都医健の在校生、一般の方も多数参加され会場は満席となっていました。ここ何年かで一番来場者が多かったのではないのでしょうか。そして、大和大路五条の京都府柔道整復師会館で行うのは今回が最後という事もあり、京柔整の会員にとっては感慨深かったことと思います。

午後1時より田中弘昭学術副部長の司会にて始まり、柴田宗宣副会長が開会の辞、長尾淳彦会長の挨拶が行われ、午後1時15分より本題の講演が始まりました。

「ロコモティブシンドロームと腰痛症」についての講演で、京都府立医科大学リハビリテーション医学教室 伊藤倫之講師がご講義下さいました。ロコモティブシンドロームの説明の後、障害者のパワーリフティングの動画を挟み、ロコモ評価についての説明がされ、運動器疾患とロコモティブシンドロームの関係性が深い三大原因(骨粗鬆症、変形性膝関節症、脊柱管狭窄症)について語られました。最後に、下半身のトレーニング(ランジ:腸腰筋のトレーニング)の事も少しお話されました。その後、質疑応答の時間が設けられ、2名の会員からの質疑応答に答えていただき講演は午後2時40分に終了しました。「どうしても痛みがあると動くのは辛いものですので、そういった事からも運動不足になるのはわかります。それらのことがロコモティブシンドロームを起こす原因となっている」とお話を聞いて改めてそう思いました。

午後3時より多賀裕展保険部員の司会にて、中村英弘保険副部長による保険講習会が行われました。「疑義返戻について」のお話をされ患者照会に関する話、疑義返戻の理由、カルテのしっかりした記載を行う事を指導されました。その後、労災と自賠責の料金改定に関する事と、そして事務所移転に関する注意点について説明がなされ、林啓史副会長の閉会の辞を以て午後3時45分に終了しました。昨今の我々に対する公的機関の目は厳しくなっていますので、カルテの記載や患者説明をしっかりと行う事が我々の信頼回復に繋がっていく筈だと思います。これらの事を踏まえて日常業務を行うよう心掛けていくようにしたいものです。



伊藤倫之講師



会場風景



長尾淳彦会長



中村英弘保険副部長

## 厚生労働大臣旗争奪

# 第40回 日整全国柔道大会

## 文部科学大臣杯争奪

# 第25回 日整全国少年柔道大会

## 文部科学大臣杯争奪

# 第4回 日整全国少年柔道形競技会

平成 28 年 10 月 9 日(日)東京都文京区の講道館において、公益社団法人日本柔道整復師会主催による標記 3 大会が開催されました。午前 8 時 30 分より 7 階大道場にて 3 大会合同の開会式が行われ、開会宣言、工藤鉄男大会会長の挨拶に続いて、ご来賓の田野瀬太道文部科学大臣政務官、橋本聖子自民党参議院議員会長よりご祝辞を賜りました。また来賓紹介で片山さつき参議院議員がご紹介されました。

開会式終了後、7 階大道場では 4 試合場に分かれて少年形競技会が開会され、全国から 28 チームが出場し形演武が行われました。京都チームは残念ながら予選で敗退となりました。

競技の結果、優勝は岐阜県、準優勝は愛知県、3 位は神奈川県、4 位は大阪府となりました。



続いて、健康やわら体操を行ったあと、全国から 48 チームが出場し少年柔道大会の団体トーナメント戦が行われました。さすが全国大会だけあってレベルの高い熱戦が繰り広げられました。京都府少年チームは静岡県チームと対戦し、1 対 3 で 1 回戦敗退となりました。試合の結果は優勝 千葉県、準優勝 茨城県、3 位 大阪府・東京都 A、敢闘賞は岐阜県・愛媛県・愛知県・徳島県、フェアプレー賞は兵庫県・福島県・島根県・静岡県となりました。また、同時刻より 6 階道場では全国 16 チームが集結し、会員柔道大会が開会されました。京都府から兼田旭紘会員・湊谷知幹会員・ガンバートル・フデレモンフ会員の 3 名が近畿ブロックチーム代表として出場され、大阪ブロックチームと対戦しましたが、残念ながら、1 対 2 の僅差で 1 回戦敗退となりました。試合の結果は優勝 南関東、準優勝 北信越西部、3 位 北関東・中関東となりました。

各大会の詳細結果・写真・動画等は公益社団法人日本柔道整復師会のホームページをご覧ください。



橋本聖子参議院議員



形競技会京都府少年チーム



柔道大会京都府少年チーム

\*全国形競技会京都府少年チームメンバー

監督 小野木 俊文

	受	取
氏名(学年) 所属	今井 遼河 (5年生) おとくにクラブ柔道教室	渡邊 晴仁 (6年生) おとくにクラブ柔道教室

\*全国大会京都府少年チームメンバー

監督 岡田 達也

	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
氏名 (所属)	城本憲生 宇治柔道会	福田銀次 八幡柔道 クラブ	石原求道 東方館	堀 慶音 KIDS 大谷	中川凱斗 東方館

\*全国大会近畿ブロックチームメンバー

監督 岡田 達也

	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将
氏名 (所属)	ガンバートル フレデムフ (京都府)	矢根和紀 (兵庫県)	兼田旭紘 (京都府)	湊谷知幹 (京都府)	川口雅也 (兵庫県)



湊谷知幹選手



兼田旭紘選手



ガンバートル・フレデムフ選手



柔道大会近畿ブロックチーム

〈後記〉

2フロア同時進行で試合が行われるため、階段を移動しての取材となり大変でしたが、事業部の山本俊広先生にご協力頂いたおかげで無事に終えることができました。ありがとうございました。試合終了後、八重洲口のビアホールにて、近畿ブロックの会長はじめ、会員の先生方で反省会が行われ、来年の奮起を誓い、東京をあとにしました。京都選手団ならびに近畿ブロック選手団の皆様、お疲れ様でした。

(広報部 波多野晃彦)

# 京都府医療推進協議会

「子育てファミリーが健康で働き続けられる社会をつくりましょう」

平成 28 年 10 月 2 日(日)京都市勧業館 みやこめっせ 1 階第 2 展示場で京都府医療推進協議会主催のイベント「子育てファミリーが健康で働き続けられる社会をつくりましょう」が行われました。

午前 10 時より京都府医師会 森 洋一会長の挨拶ではじまり、京都府理学療法士会、京都府薬剤師会のステージイベントが行われました。10 時 40 分からは「親子で一緒に楽しくバレエ体操」が行われ、11 時半より「それいけ！アンパンマンショー」が開催されました。会場はアンパンマン人気で小さいお子様連れの方で大変賑わっておりました。



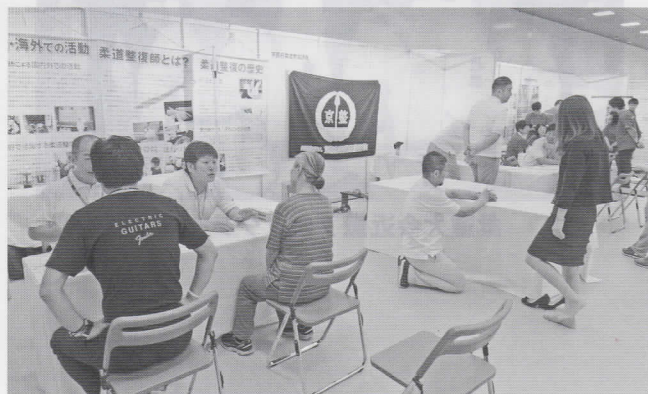
参加スタッフ

12 時 40 分から 13 時 50 分まで大阪大学大学院医学系研究科特任准教授 本庄かおり氏の講演会が行われました。内容は日本社会に根強い性別分業制が、女性の仕事と家庭の両立を難しくし、職場でのキャリアアップに弊害をもたらしている現状や健康への影響を指摘するとともに、「男性の育児参加の社会的浸透」と「女性が育児で職を失う事のない社会」の実現に向けてでした。

そして、午後 2 時からは再び二回目の「それいけ！アンパンマンショー」が行われ、次いで京都府鍼灸師会、京都府作業療法士会のステージイベントが行われ、お楽しみ抽選会にてスケジュールは終了となりました。来場者が多かったので各ブースとともに親子連れで賑わっていました。各ブースは展示物、相談、体験の各コーナーが設けられ、他に絵本や飲食、子供の遊び場が設置され、一日退屈せずにご家族が過ごせるように配慮されていました。

当日の来場者数は 3500 名ほどで、京都府柔道整復師会のブースにも多数の方が体力測定に来られました。

関係者の皆様お忙しい中、お疲れ様でした。



京都府柔道整復師会のブース

# 『柔道整復師 守るべきもの・変わるべきもの』 第25回 日本柔道整復接骨医学会学術大会

平成28年11月19日(土)・20日(日)の両日、宮城県の仙台国際センターにおいて、標記大会が開催されました。今回の会場は東北新幹線仙台駅から約10分、また仙台空港からは仙台駅経由で約40分のアクセスで、近隣には広瀬川や青葉城跡、東北大学の広大なキャンパスがあり、大変風光明媚なところです。



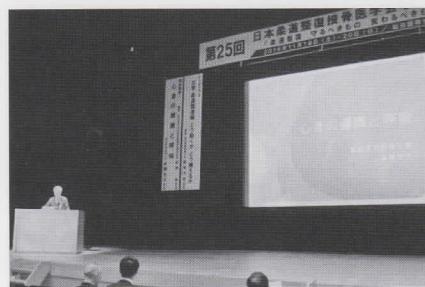
学会会場 仙台国際センター



座長を務められる長尾淳彦会長(右)

本会の長尾淳彦会長は今大会の実行委員長であり、19日午後1時からA会場大ホールで行われたシンポジウムの座長も務められました。内容としましては、「災害 柔道整復師 どう動くか 備えるか」と題し、(公社)岩手県柔道整復師会の植田秀実先生、(公社)宮城県柔道整復師会の松元浩二先生、(公社)福島県柔道整復師会の遠藤寿之先生、(公社)兵庫県柔道整復師会の根来信也先生、(公社)熊本県柔道整復師会の松村圭一郎先生、(公社)大分県柔道整復師会の加藤和信先生の6名がシンポジストとして参加され、それぞれ自県に発生した災害に対して、組織(社団)としての対応や活動、また個人(施術所)としての対応や活動を動画や写真を交えてご紹介いただきました。独自に撮影された地震や津波の生々しい映像を拝見し、改めて災害の恐ろしさを実感いたしました。引き続き午後3時より、特別講演Ⅰとして東京有明医療大学の本間生夫先生が「心身の健康と呼吸」と題し、学生の実技を交えてご講演いただき、1日目は閉会となりました。

翌日20日A会場において、午前11時より大会会長講演として、元帝京大学の佐藤捷先生が「症例研究と単一事例実験計画法について」と題して講演されました。午後1時より特別講演Ⅱとして、東北



特別講演Ⅰ 本間生夫先生



東京有明医療大学の  
学生による実技



大会会長講演 佐藤捷先生

大学大学院整形外科学分野の井樋栄二先生が「腱板断裂の病態と治療」と題して講演されました。続いて午後3時より、実践スポーツ医科学セミナーとして、早稲田大学スポーツ科学学術院の金岡恒治先生が「腰部障害の発生機序と病態別運動療法」と題して講演されました。各講演の内容につきましては接骨医学会のホームページや学会誌をご覧ください。学会発表は、A会場からE会場・ポスター会場・ワークショップ会場の計8会場において、19日の午前10時より20日の午後4時まで行われました。また同時に展示ホールでは最新医療機器や衛生材料等の展示販売がありました。



特別講演Ⅱ 井樋栄二先生



医科学セミナー 金岡恒治先生



医療機器展示会場

どの講演も我々柔道整復師にとって、明日からの施術に役立つ話ばかりで、今大会も沢山のことを吸収し会場をあとにしました。今大会において京都府柔道整復師会会員の発表はありませんでした。次回は平成29年11月3日・4日に大阪府の国際会議場グランキューブ大阪で行われる予定です。年一回の大きな学術大会ですので、会員の先生方もぜひとも参加されてはいかがでしょうか。

(広報部 波多野晃彦)

## 協同組合 中小企業団体中央会補助金事業 固定材料（キャスト材）の専門知識向上講習会

平成28年11月12日(土)午後3時より京柔整会館3階中会議室において、京都府中小企業団体中央会の補助金事業の一環として、標記講習会が開催されました。

今回は講師にパシフィックサプライ(株)事業開発部の義肢装具士である工藤ゆかり様をお迎えし、同社が取り扱っているオルフィットキャスト（ベルギー製）を使用した固定法を、実技を交えてご講義いただきました。続いて、ダイヤ工業メディカル部門・西日本エリア長の大今直様から同社の製品である熱可塑性HMシートの使用法についてご紹介いただき、講習会は終了となりました。今回の参加者は組合員・組合員外を合わせて32名でした。講師の先生方、熱心なご講義ありがとうございました。また参加者の皆様、お疲れ様でした。

(協同組合理事 波多野晃彦)



講師 工藤ゆかり様 (中央)

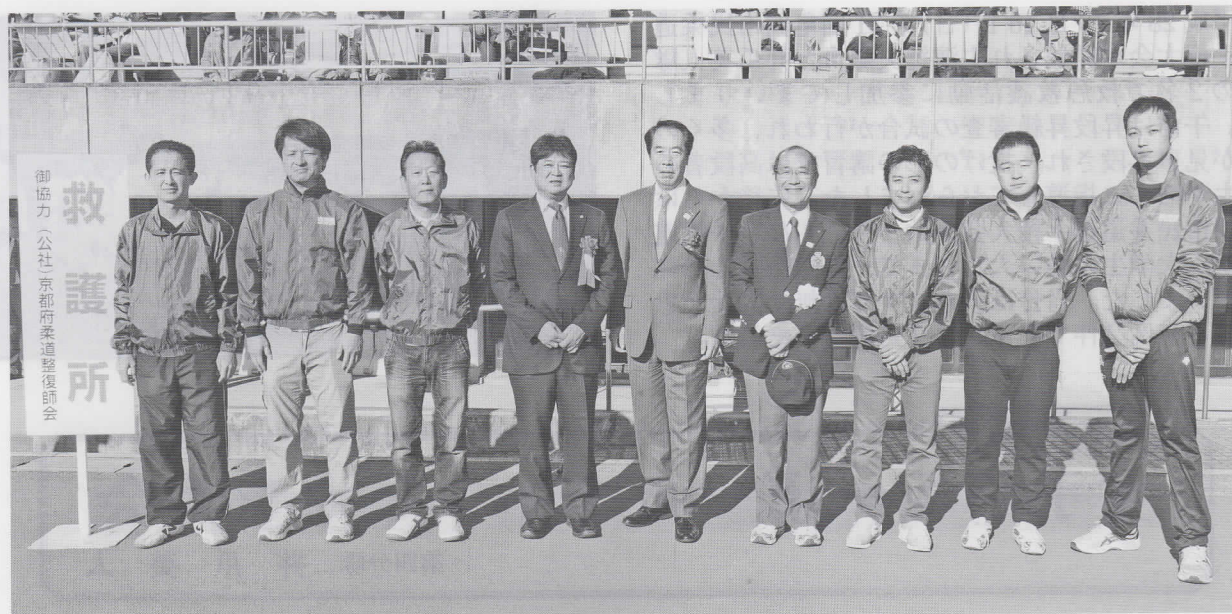


実技風景



講師 大今直様 (中央)

# 第28回市民スポーツフェスティバル



本会救急救護隊員と田中英之衆議院議員、長尾淳彦会長、門川大作京都市長

平成26年11月3日(月・祝)午前9時から西京極総合運動公園にて第28回市民スポーツフェスティバルが開催されました。例年通り、京都府柔道整復師会に救護員の派遣要請があり、6名の救急救護隊員を派遣しました。開会式では長尾淳彦会長が来賓として出席されました。

開会式の後、それぞれの担当場所に別れ、陸上競技場ではリレーカーニバルとジョギング、ハンナリーズアリーナではソフトバレーボール、わかさスタジアムではソフトボールの救護活動にあたりました。

陸上競技場では右大腿部挫傷、左大腿部挫傷、前額部打撲、右肘部・右骨盤部・両膝部挫創の応急手当を、ハンナリーズアリーナでは左膝関節捻挫、右足関節捻挫の応急手当を行いました。わかさスタジアム京都では負傷者はいませんでした。

AEDの使用や救急車の要請などはなく、無事に救護活動を終わりました。



テーピング処置を行う岡村優輝隊員

派遣救急救護隊員

陸上競技場担当

- ・井爪英人隊員
- ・吉川秀則隊員

ハンナリーズアリーナ担当

- ・岡村優輝隊員
- ・廣井徳次郎隊員

わかさスタジアム京都担当

- ・辻田茂貴隊員
- ・中野雄太隊員

(広報部 森田康裕)

## 救護活動報告

# 第31回亀岡市民柔道選手権大会

第四分隊 井爪英人

平成28年10月16日(日)第31回亀岡市民柔道選手権大会が開催され中濱純夫隊員と井爪英人隊員の2名で救急救護活動に参加してまいりました。午前は昇段昇級審査の試合が行われ、多くの方が見事昇段され、投げの形の講習では高段者の先生が熱心に指導しておられました。午後からは亀岡市民柔道選手権大会が始まり、ちびっ子柔道家から大学生の強い人たちまで一生懸命試合に臨んでいました。当日は大きなケガは無く捻挫と思われる症例2件でアイシング処置としました。



## 救護活動報告

# 女子バレーボールチャンピオン大会

第四分隊 井爪英人

平成28年11月20日(日)西京極総合運動公園内ハンナリーズアリーナにて「女子バレーボールチャンピオン大会」が開催され、吉川秀則隊員と井爪英人隊員の2名で救急救護活動に参加させていただきました。当日は、各チーム強豪ぞろいでシーソーゲームやフルセットまで纏れる戦いが続き後半はさらにヒートアップしてきました、応援団も大声援を送るなか、各選手筋肉の痙攣などに苦しみながらも、応急処置後コートに戻り、決勝戦も大熱戦でした。救急救護は大きな負傷はありませんでしたが、テーピング処置が多かったです。無事大会も終了し大変良かったです。

# 第20回京柔整会ゴルフコンペ

京柔整ゴルフ同好会 山形高明

去る11月23日(水・祝)、第20回京柔整会ゴルフコンペを京都府城陽市の東城陽ゴルフ倶楽部で開催しました。

当日は、突然の寒さに体がついていかないとされる先生もいる中、同好会メンバーで競技を行いました。熱戦が繰り広げられる中、優勝は北支部の田鍋雅裕会員、準優勝は下京南支部の藤田徹会員という結果になりました。コンペ終了後、表彰式と合わせて会食が行われゴルフ談議に花を咲かせ、林啓史京柔整ゴルフ同好会会長の挨拶で閉会となりました。次回は春を予定しておりますので、ぜひご参加の程をお待ちしております。





支部だより

## 南山城支部会

通信員 市 位 尚 也

平成28年10月15日(土)「天下一品先斗町 味がさね」にて、17時から南山城支部会、18時30分からは懇親会が開催されました。

支部会では、提議案について会員で話し合い、今まで曖昧だった点を精査し、取り決めすることができました。今後の支部会の活動にとって充実した会議となりました。

懇親会からは、長尾淳彦会長にもご参加頂き、柔道整復師の現状や今後、柔道整復師がど

のように医療に携わっていくか等、様々なお話をしていただき会員にとって、とても有意義な時間となりました。

その後は、各先生方の色々なお話しがあり、会員のコミュニケーションがとれた懇親会となりました。2時間ほど、なごやかに宴が進み、最後に長尾淳彦会長と支部会員で集合写真を撮り閉会となりました。



支部だより

## 下京・南支部勉強会

通信員 安 田 優 二

平成28年11月12日(土)午後4時30分より下京区の新町通仏光寺にある「京料理 木乃婦」において支部勉強会が開催されました。勉強会に先立ち、支部会が行われました。

森島康之会計より支部の財政状況が厳しくなりつつあるので、支部費の値上げを検討しなければならないとお話がありました。次に保家支部長より前回の支部総会において話し合われた「地域への社会貢献」についての報告がありました。区民運動会やスポーツ大会などの催しにボランティア参加することについて下京区の体振にアプローチしたところ好印象な反応であったとのことでした。次に4月に入会され、京都仏眼医療専門学校付属のぶつげん接骨院で施術に当たり、専門学校の教員もされている山本啓司会員の紹介がありました。

5時より医療法人高生会 理事長、高生会リハビリテーションクリニック院長の医学博士、高 謙一郎先生による勉強会が始まりました。高先生の勉強会は当支部で20年もの長きにわたって行われています。そのたびに色々と得るものがあり、大変充実した勉強をさせていただいています。

今回は京都の整形外科医会の状況と激増する柔道整復師への対処について整形外科医会を出しておら

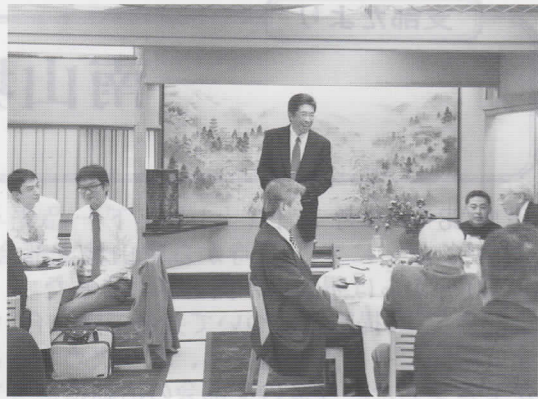
れる冊子を題材に質問を交えながら詳しく丁寧に解説をいただきました。柔道整復師としてはとにかく柔整会への入会を促し組織率を上げ、研修制度もより一層充実させて業界のレベルアップをしていくことが大事であると話されました。あと、多岐に渡る質問に詳細な回答をいただき、勉強会は終了しました。その後、懇親会に移り和やかに歓談しながらも勉強は続き、お開きとなりました。



山本啓司会員



挨拶する保家幸生支部長



高謙一郎先生

## 会員の動静

### 新入会員紹介

**上岡 伸光** (下京・南支部)  
 (11月入会) うえおか接骨院  
 〒600-8025  
 京都市下京区清水町291  
 Tel・Fax: 075-344-3719



**宮本 和輝** (上京支部)  
 (11月入会) みやこ整骨院  
 〒602-8471  
 京都市上京区一色町27  
 メガロコブ西陣1-1  
 Tel: 075-432-3311  
 Fax: 075-432-3310



**河原 巧** (北丹支部)  
 (12月入会) かわはら接骨院  
 〒624-0852  
 京都府舞鶴市大内4番地  
 Tel・Fax: 0773-87-1351



### 退会

10月 小林 龍司 (東山・山科支部)  
 有留 孝信 (北丹支部)  
 11月 増井 直義 (南山城支部)  
 和田 友恵 (南山城支部)

### 掲示板コーナー

#### 京柔整カレンダー

		柔整関係	京都の行事
1月	21日(土)	税務個別相談会	
	25日(水)		初天神 (北野天満宮)
2月	19日(日)	京都府医療従事者資質向上研修事業 (京都テルサ)	京都マラソン2017
3月	19日(日)	第68回京都接骨学会・保険講習会 (京都テルサ)	

## 編集後記

あけましておめでとうございます。特集の「京都の接骨の源流①」はお読みいただけましたでしょうか。時代とともに柔道整復師の在り方は変化しています。少子高齢化の時代を迎え、今後どのように変化していくか。時代のニーズに即して変化を恐れず、大胆に行動することを意識していきたいと思います。 森田康裕

新年明けましておめでとうございます。2017年が皆様にとって素晴らしい一年となり、そして柔整業界にとっても発展の年となることを願います。国の財政も年々厳しくなっており、我々の業界に対する風当たりもより一層厳しいものとなるのが予想されます。そういった中でも柔道整復師が必要であると国民に思わせることのできる行動をとれるよう1人1人が日々、精進していきたいですね。 しんじ

剣道に「残心」という語がある。「残心」とは技が決まった後も相手の反撃を瞬時に返すことができるよう身構えていること、勝負が決してから心構えを示すものである。剣道の場合、「残心」がなければ技が正確に決まっても有効打突にならない。私も若かりし頃、決まった瞬間にガッツポーズをして一本を取り消された苦い経験がある。柔道においても、投げた後の寝技への移行がそれに近い状態ではないだろうか。すなわち「残心」とは「気迫に満ちながら、静穏さを保ったまま終わる」ということであり、簡単に言えば、「気を抜かない、心の緊張を保つこと」を意味する。仕事や個人においても同様だと思う。「残心」をもう一度見直したい。今年目標である。 hatabou

2016年は慌ただしく過ぎ去り、2017年がやってきた。本会においては32年の間、親しんできた会館から新たな城を求めゆく途上の年となるのだろう。個人的には2013年に父を亡くし、昨年は母を亡くすることになった。思いがけないことで未だに実感が湧いてこない。しかし、現実は何となく、次から次へとやるべきことが押し寄せてくる。この年がいろんな意味で転機になるような予感がしている。昨年お世話になった方々に心よりお礼申し上げます。本年もどうぞよろしく願いたします。 YUJI

新年あけましておめでとうございます。さて去年、理事の挨拶文に「見える化」の言葉を認め、製造現場等では使われていましたが、まだまだ知れ渡っていない言葉として校閲をさせて頂いたのを記憶しています。しかし「見える化」も半年で一般に認知されるようになり、時代の移り変わりに驚きを隠せません。そして最近では「エビデンス」と言った言葉をよく聞くようになりました。各業界では少しずつ捉え方は違うようで医療の世界でもしかりです。広報部では、言葉の一つ一つ吟味し流行り言葉や認知度の少ない言葉などには、校閲をさせていただき読みやすい表現をお願いしています。ご理解の程、よろしく願いたします。部員だけの目線では至らない点もございますので、本年も皆様からの投稿とご意見を願います。本年も皆様にとって素晴らしい一年をお過ごしになれるように祈念致しております。 ☆nakatoshi☆

次号 しめ切り 3月3日

## 京柔整会報 機関誌 142号

平成 29 年 1 月 20 日

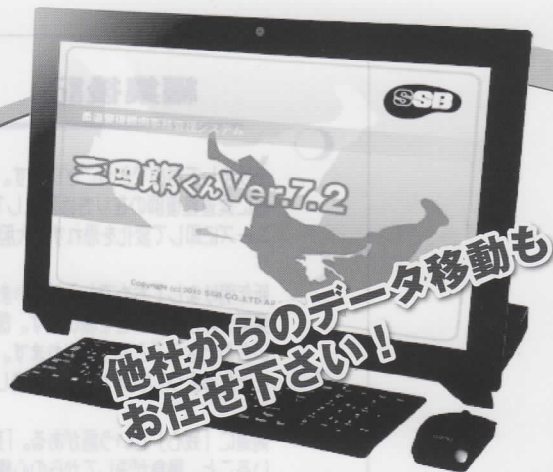
発行者 公益社団法人 京都府柔道整復師会  
会長 長尾 淳彦  
編集責任者 広報部 中川 稔 貴  
発行所 京都市中京区壬生松原町16番地 室谷ビル 3階  
☎ 京都 (075) 813-1156  
(広報部)  
印刷所 奥原印刷紙行  
京都市西京区松室北河原町205  
TEL. (075) 381-5611  
FAX. (075) 392-0111

洗練されたインターフェイスと使いやすい操作性。

柔道整復師向 事務管理システム

# 三四郎くんVer.7.2

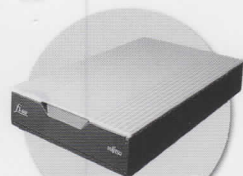
療養費改正等の保険改正にすばやく対応。  
迅速サポートでご好評を頂いている『三四郎くん』は、  
常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。



※一部ご希望に添えない場合があります。



オプションでさらに便利!



保険証リーダー



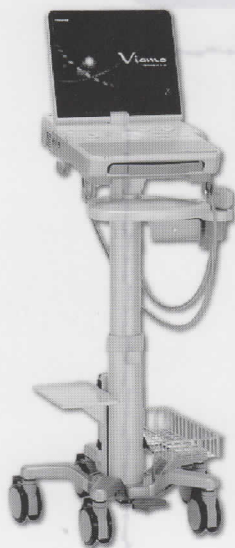
サーマルプリンタ



バーコードシステム

## 超音波画像観察装置 ラインナップ

骨・軟骨・筋・腱・靭帯などがリアルタイムに観察できます。



### Viamo Limited Edition

医療機器認証番号:  
第 226ABBZX00136000 号  
販売元: 東芝メディカルシステムズ株式会社

### HS-2200

医療機器認証番号:  
第 225AHBZX00034 号  
製造販売元: 本多電子株式会社



### ARIETTA Prologue SE

医療機器認証番号:  
第 227ABBZX00109000 号  
製造販売元: 株式会社日立製作所

その他、様々な機種を取り揃えております。

株式会社 エス・エス・ビー

Web <http://www.sanshiro-net.co.jp>

詳しくはこちら

関西  
営業所

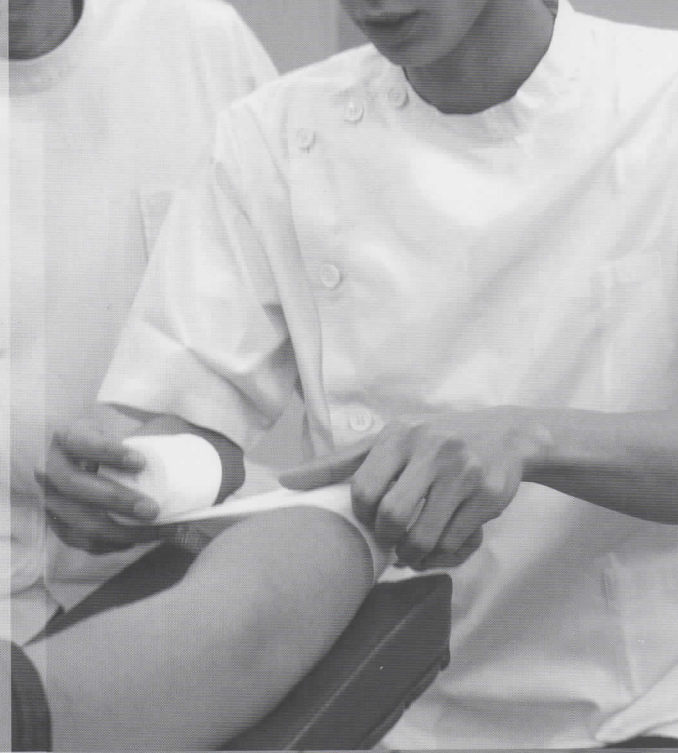
〒532-0011  
大阪市淀川区西中島4-13-24 花原第3ビル405号  
TEL.06-6390-3462 / FAX.06-6390-3463

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース  
▶ <http://www.jusei-news.com/>





学校法人  
明治東洋医学院



# スポーツ × 医療



2017年4月  
保健医療学部  
「救急救命学科」  
開設

～部活のチカラを未来につなぐ場所～

◎中学・高校保健体育 一種免許状取得可能 ※星槎大学との協定による

◎Wスクールでの鍼灸師、柔道整復師のWライセンス取得

トップアスリート、スポーツメディカリストを目指す

## 明治国際医療大学

0629-0392 京都府南丹市日吉町  
TEL 0771-72-1188(入試事務室) FAX 0771-72-1189  
URL <http://www.meiji-u.ac.jp>



受験生のためのポータルサイト  
「GOGO受験生」にアクセス

誰かの支えになる喜び、アスリートを支える医療人へ

## 明治東洋医学院専門学校

〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町 7-53  
TEL 06-6381-3811 FAX 06-6381-3800  
URL <http://www.meiji-s.ac.jp>



オープンキャンパスの  
お申込みはコチラ!!

鍼灸学部  
**鍼灸学科**  
目指す資格  
はり師・きゆう師 (国家資格)  
アスレティックトレーナー (JATAC)  
健康運動実践指導者  
スポーツプログラマー

保健医療学部  
**柔道整復学科**  
目指す資格  
柔道整復師 (国家資格)  
■アスレティックトレーナー (JATAC)  
■健康運動実践指導者  
■スポーツプログラマー  
■ジュニアスポーツ指導員

看護学部  
**看護学科**  
目指す資格  
看護師・保健師・助産師 (国家資格)  
■アロマセラピスト  
■養護教諭二種免許  
■第一種衛生管理者免許

**鍼灸学科** [医療専門課程3年制]  
目指す資格  
はり師・きゆう師 (国家資格)  
■アスレティックトレーナー (JATAC)  
■スポーツアロマトレーナー (JSTA)  
■アロマコーディネーター (JAA) etc.

**柔整学科** [医療専門課程3年制]  
目指す資格  
柔道整復師 (国家資格)  
■アスレティックトレーナー (JATAC)  
■スポーツアロマトレーナー (JSTA)  
■アロマコーディネーター (JAA) etc.

